

**第3編**  
**地域別施策**

## 第3編 地域別施策

本県には、東京都に隣接し人口増加が続く地域や、郊外に市街地が点在し都市と田園が共存している地域、そして豊かな自然に包まれた魅力的な環境にありつつも人口減少や高齢化が進んでいる地域もあります。

今後、人口減少・超少子高齢化が進む中、地域の人口動態をはじめとする社会経済の動向を踏まえた施策展開を行うことで、本計画に掲げる令和22年(2040年)を見据えた将来像や分野別の各施策をより一層効果的に実現していくことができます。

また、各地域の市町村などと連携し、産業、自然、文化など特徴的な資源や環境を生かし、創意工夫して個性豊かで多彩な地域づくりに取り組むことが重要です。

このため、各地域の特性や現状を踏まえ、地域ごとに異なる課題に対して「第2編 政策」の分野別施策に示した取組を再編し、「地域づくりの方向性」や「主な取組」として示します。

### Ⅰ 地域区分の考え方

#### (1) 県南・圏央道・県北ゾーン

本県では、都心からの距離に応じて都市化の進展や社会経済の状況が異なる傾向があります。このため、県域を都心からのおおむねの距離に基づき大きく県南・圏央道・県北の3つのゾーンに区分し、特性や課題を整理しました。

- ① 県南ゾーン(都心からおおむね10~30km圏)  
東京都の影響を受けやすく、早くから都市化が進行した地域
- ② 圏央道ゾーン(都心からおおむね30~60km圏)  
都市と田園が共存しており、圏央道の整備により一層の発展が期待されている地域
- ③ 県北ゾーン(都心からおおむね60km以遠)  
潤いのある豊かな自然環境や歴史・伝統などの特徴的な地域資源が多く残されている地域

#### (2) 10地域区分

地域の特性と課題を踏まえながら、市町村などと連携した地域づくりを推進するための単位として、県民の生活圏としての一体性など広域的なまとまりに基づき、主に次の観点から10の地域に区分しました。

① 日常生活圏のまとまり

県民の生活圏としての一体性がある地域の単位に基づき、施策を円滑にまとまりのある形で推進することが大切です。このため、通勤・通学や通院といった生活圏としての一体性がある市町村を同じ地域に区分しました。

② 鉄道・道路の交通軸

経済活動などは鉄道・道路などに沿って活発化し、また鉄道沿線などは県民の持つ地域の一体感にも影響するため、交通軸に配慮した地域区分としました。

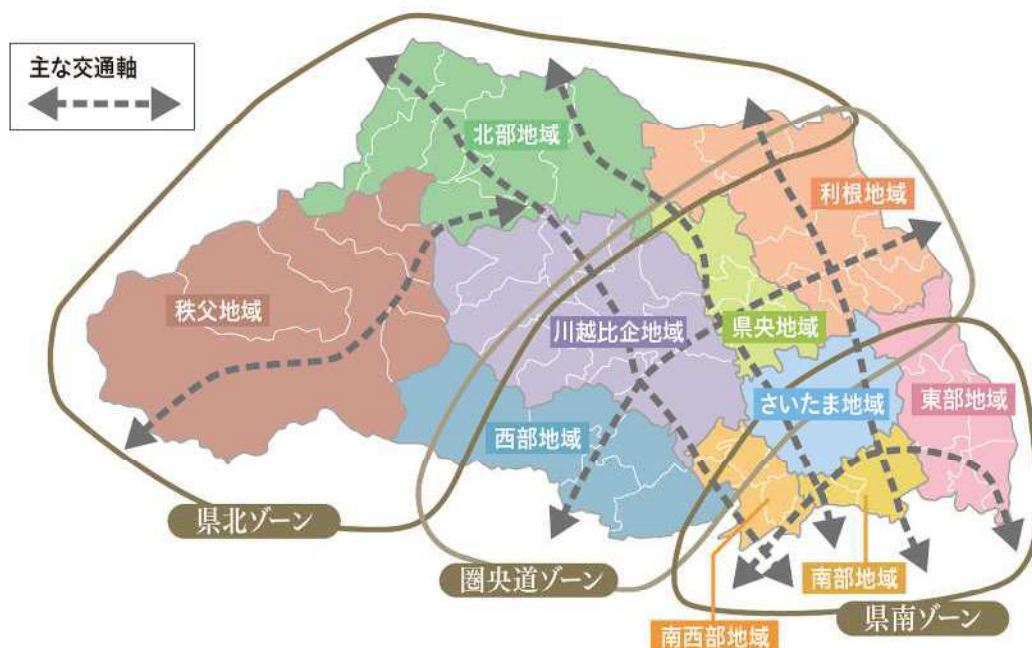
なお、本県は都心から放射状に延びる鉄道・道路に沿って発展してきたため、既存の人の流れは都心からの放射方向が大きくなっています。圏央道などの横方向の交通軸については3つのゾーン区分において考慮しています。

③ 行政機関のまとまり

行政施策の推進やこれまでの地域づくりの成果を継承するため、地域機関などの所管区域や市町村の広域連携の状況などを踏まえた地域区分としています。

10地域の現状や課題を踏まえ、分野別施策に掲げる全県的に展開される取組のうち、特にその地域で取り組むべきものを整理しました。

3ゾーンと10地域区分



10地域区分の構成市町村

地域区分		構成市町村
3ゾーン	10地域	
県南ゾーン	南部	川口市、蕨市、戸田市
	南西部	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東部	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま	さいたま市
圏央道ゾーン	県央	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川越比企	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西部	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利根	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
県北ゾーン	北部	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
	秩父	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町

## 2 3ゾーンの特性と課題

### (1) 県南ゾーンの特性と課題

都心からおおむね10～30km圏の範囲内にあり、10地域のうち南部、南西部、東部、さいたまの4地域が位置しています。

県南ゾーンには本県の総人口の半数以上が居住しています。都内への通勤・通学の交通利便性が高く、東京都、千葉県、神奈川県からの転入者数も多くなっています。特に20代から30代の若年世代でその傾向が顕著であり、借家の割合が高いことも特徴です。また、本県の出生数の6割以上、待機児童数の6割以上をこのゾーンが占めています。

人口は依然として増加傾向ですが、推計では令和12年には減少に転じていると見込まれています。また、令和7年から令和32年(2050年)までの高齢者・後期高齢者の増加率は3ゾーンの中で最も高く、県内の高齢者・後期高齢者の半数以上がこのゾーンに居住することが予想されています。

このゾーンは、若い世代が子育てしやすいまちづくり、急増する高齢者が暮らしやすいまちづくりが求められます。そのためには、待機児童対策や保育サービスの充実など子育て支援策の強化や、高齢者の活躍の推進、健康づくりの取組、包括的な医療・介護体制の構築が期待されます。

また、このゾーンは人口密度が高く、大規模な地震や令和5年6月梅雨前線及び台風第2号による大雨などを教訓とした水害に対する備えが必要です。

### (2) 圏央道ゾーンの特性と課題

都心からおおむね30～60km圏の範囲内にあり、県央、川越比企、西部、利根の4地域が位置しています。

圏央道ゾーンには本県の総人口の約4割が居住しています。1980年代後半から1990年代に人口が大きく増加しましたが、近年では減少傾向にあります。直近の人口移動状況を見ると全体では転入超過となっており、年代別の内訳をみると15歳未満のこどもの転入超過数が3ゾーンの中で最も多くなっています。また、一時期人口が急増したこともあり、令和7年の後期高齢者の人口の割合は18.7%で、3ゾーンの中で最も高くなっています。その後、令和32年(2050年)にかけて人口全体が減少していく中で高齢者数も徐々に減少に転じていきますが、高齢化率は上昇を続ける見込みです。

このゾーンでは、東西に延びる圏央道に加え南北を結ぶ上尾道路の整備も進んでおり、交通利便性が向上することで企業立地における優位性が更に高まることが期待されます。また、テレワーク\*のような柔軟な働き方\*が急速に普及する中で、このゾーンが持つ都市と田園が共存した魅力的な住環境を生かし、若者や子育て世代の定住を図ることで地域の活力を高めることが求められます。立地企業による雇用の創出などを通じて20代の若者世代の転出を抑えるとともに、高齢者が暮らしやすいまちづくりを進めることも重要です。

このほか、水害などの自然災害に対する備えが必要です。

### (3) 県北ゾーンの特性と課題

都心からおおむね60km以遠にあり、北部、秩父の2地域が位置しています。

県北ゾーンには本県の総人口の約1割が居住しています。平成12年(2000年)頃に人口のピークを迎え、その後は徐々に減少しています。15歳から64歳までの生産年齢人口が転出超過となっており、とりわけ就職の時期を迎えた20代の転出超過数が非常に多くなっています。出生数も毎年減少傾向にあり、3ゾーンの中で最も減少率が高くなっています。

県内で最も高齢化が進んでいる地域であり、県北ゾーンの全人口に占める後期高齢者人口の割合は、令和7年の21%程度から令和32年(2050年)には28%程度まで上昇すると見込まれています。

高齢化が進む中、コミュニティ全体で高齢者の日常生活を支える仕組みを充実していくとともに、コミュニティバス\*やデマンド交通\*などにより生活の足を確保することも重要です。

また、このゾーンの活力を高めるためには、主要道路の沿線を中心に企業立地や産業振興を図るとともに、新しい働き方の普及を見据えて、豊かな自然と調和した住環境など地域の魅力を県内外に発信していくことが重要です。

このゾーンは、歴史上の偉人のゆかりの地であることや、各地で伝統的な祭りが開催されるなど、観光地としてのポテンシャルが高い地域です。この貴重な地域資源を生かして観光客などの交流人口や関係人口\*を拡大し、地域を活性化することが期待されます。

このほか、大雪や土砂災害など、このゾーン特有の災害に対する備えが必要です。

## 3 10地域区分

### (1) 南部地域 (川口市、蕨市、戸田市)

#### ① 地域の概要

都心から10~20km圏、荒川を挟んで東京都と接する県の南端に位置しています。地域の大半を占める荒川低地に市街地が広がっています。

江戸時代には、川口や蕨は日光御成道や中山道の宿場町として栄え、また、荒川に面する戸田には「戸田の渡船場」が設けられ交通の要衝として発展しました。荒川や芝川から良質の粘土や砂が採取されたことから、鍋・釜などを中心とした鋳物産業が盛んになったほか、植木の産地としても有名になるなど多様な産業が発達しました。

明治以降、鋳物産業に端を発した機械・金属製造業が増加するとともに、現在ではこのほかにも印刷、食品製造業、物流などの事業所が立地しています。マンションや大型商業施設が多く立地するなど都市化が進んでいる一方で、荒川や芝川などの河川空間、屋敷林や社寺林、植木畑などのゆとりある緑地空間も残っています。

地域内をJR京浜東北線・武蔵野線・埼京線、埼玉高速鉄道線が走り、首都高速道路（首都高）、東北道、外環道、国道17号・122号・298号が広域的な交通網を形成しています。

#### ② 地域の現状と課題

この地域は、人口81万人（令和7年）、県人口の11.1%を占めると推計されており、20代は県外に対して大きく転入超過（令和7年）となっている一方、10代未満や30代が県内他地域に対して転出超過（令和7年）となっていることが特徴です。

低地に密集した市街地が広がっているため、地震や台風などに備えた防災・治水対策を強化することが求められます。

合計特殊出生率（令和6年）は県内で低位の水準です。20代の転入超過数はさいたま地域に次いで多く、この世代が結婚後も住み続けられるような地域の魅力づくりが必要です。

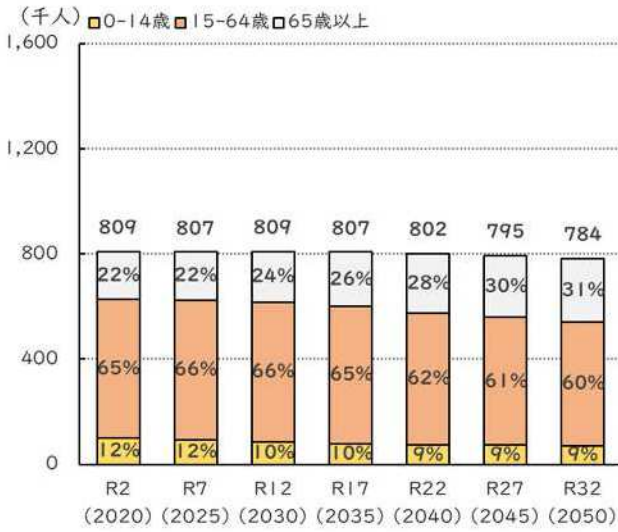
生産年齢人口の割合（令和7年）は県内で最も高くなっています。

高齢化率（令和7年）は県内で最も低くなっていますが、令和32年（2050年）までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は5.1ポイント増加し約18%に達する見込みです。

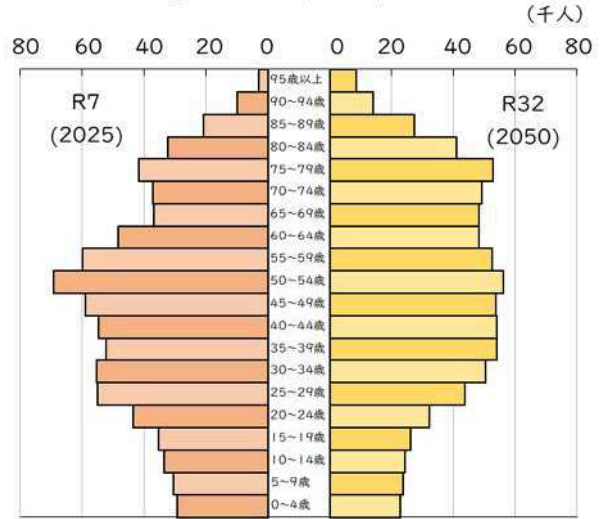
地域内人口に占める外国人人口の割合は県内でも特に高くなっており、外国人住民との多文化共生社会づくりが必要です。また、活気のある水辺空間の創出による快適で美しいまちづくりが期待されています。

機械・金属などの製造業や印刷関連といったものづくりの企業が集積している地域であり、中小企業の経営・技術力の継承・強化、デジタルトランスフォーメーション(DX)\*による生産性向上などを支援し、地域経済の活性化を図ることが求められます。

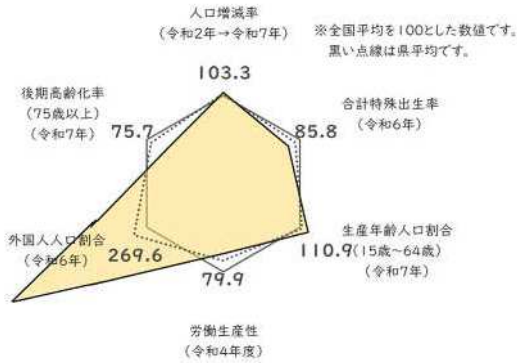
### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



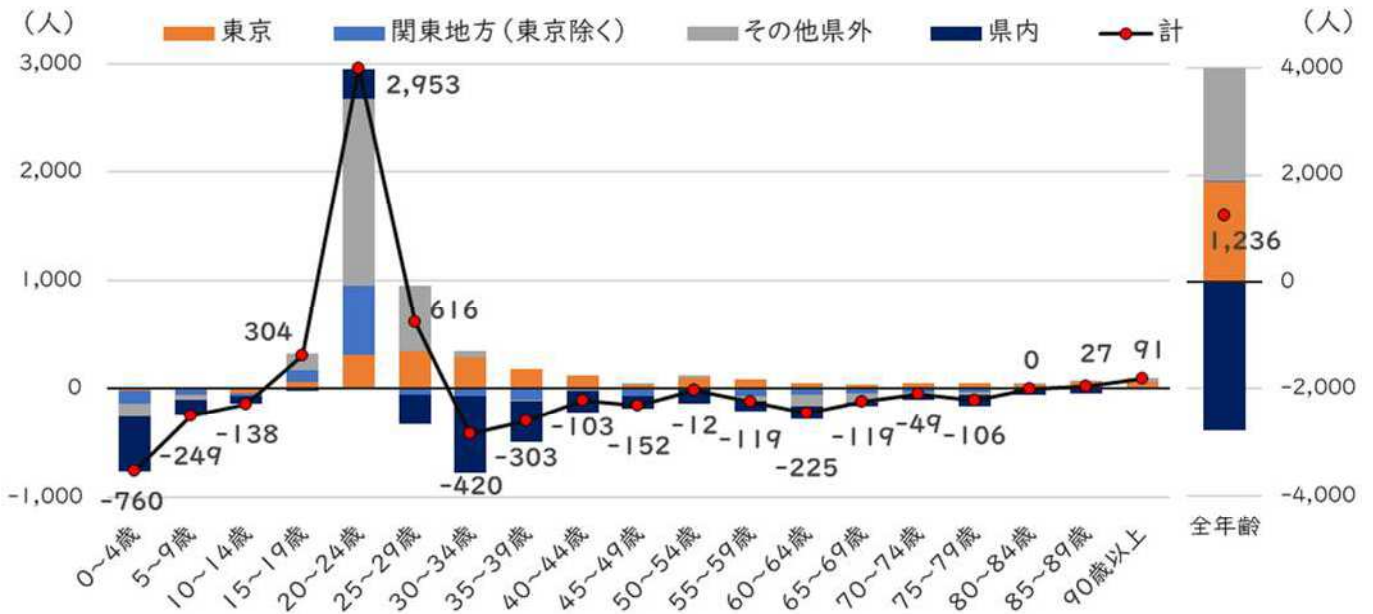
### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

南部地域	令和5年度 域内総生産 (億円)		全県に おける シェア (%)	県内総生産 (億円)		令和5年 (参考) 全国の総生産 割合 (%)
		割合 (%)			割合 (%)	
全体	24,288	100%	9.4%	258,867	100%	100%
1次産業	7	0.0%	0.9%	823	0.3%	0.9%
2次産業	5,625	23.2%	8.3%	67,794	26.2%	26.1%
3次産業	18,411	75.8%	9.8%	187,644	72.5%	72.9%

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性（南部地域）

低地に密集した市街地が広がるこの地域では、首都直下地震や台風などの災害に備え、国道122号及び298号などの道路啓開体制\*の強化や笹目川などの河川改修を行うとともに、災害時の避難体制の強化などを進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、流域下水道施設の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策や予防保全型のインフラマネジメントを行います。

県民の生活に身近な犯罪の増加に対応するため、地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに、高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し、暮らしの安全・安心を確保します。また、生活科学センター（彩の国くらしプラザ）において消費生活に関する体験型学習機会を提供します。

地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築するとともに、サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保など、高齢者が地域で安心して生活できる住環境の構築を進めます。

待機児童の解消に向けた保育所などの整備を促進することで、子育てしやすい環境の充実に図ります。また、知的障害特別支援学校の児童生徒数は引き続き増加傾向にあるため、過密解消に向けた整備を行います。

孤独・孤立の予防や解消に向け、関係機関との連携による取組を推進します。発達障害者就労支援センター（ジョブセンター川口）で就労を希望する発達障害\*者への支援を行います。さらに、埼玉未来大学\*において、高齢者が社会で活躍できるよう支援を行います。

増加する在留外国人に対応した多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

埼玉県屋内総合プールを活用し、水泳競技の競技力の向上、水泳をはじめとするスポーツの振興及び県民の健康の増進等を図るほか、各種スポーツイベントの開催、プロ・トップスポーツチーム（ソフトボール、バスケットボール3×3、ラグビーなど）との連携など、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実に図ります。

大学や研究機関との連携を通じて、企業のイノベーション\*創出を支援することにより、中小企業の競争力を高め、地域の稼ぐ力を向上させます。

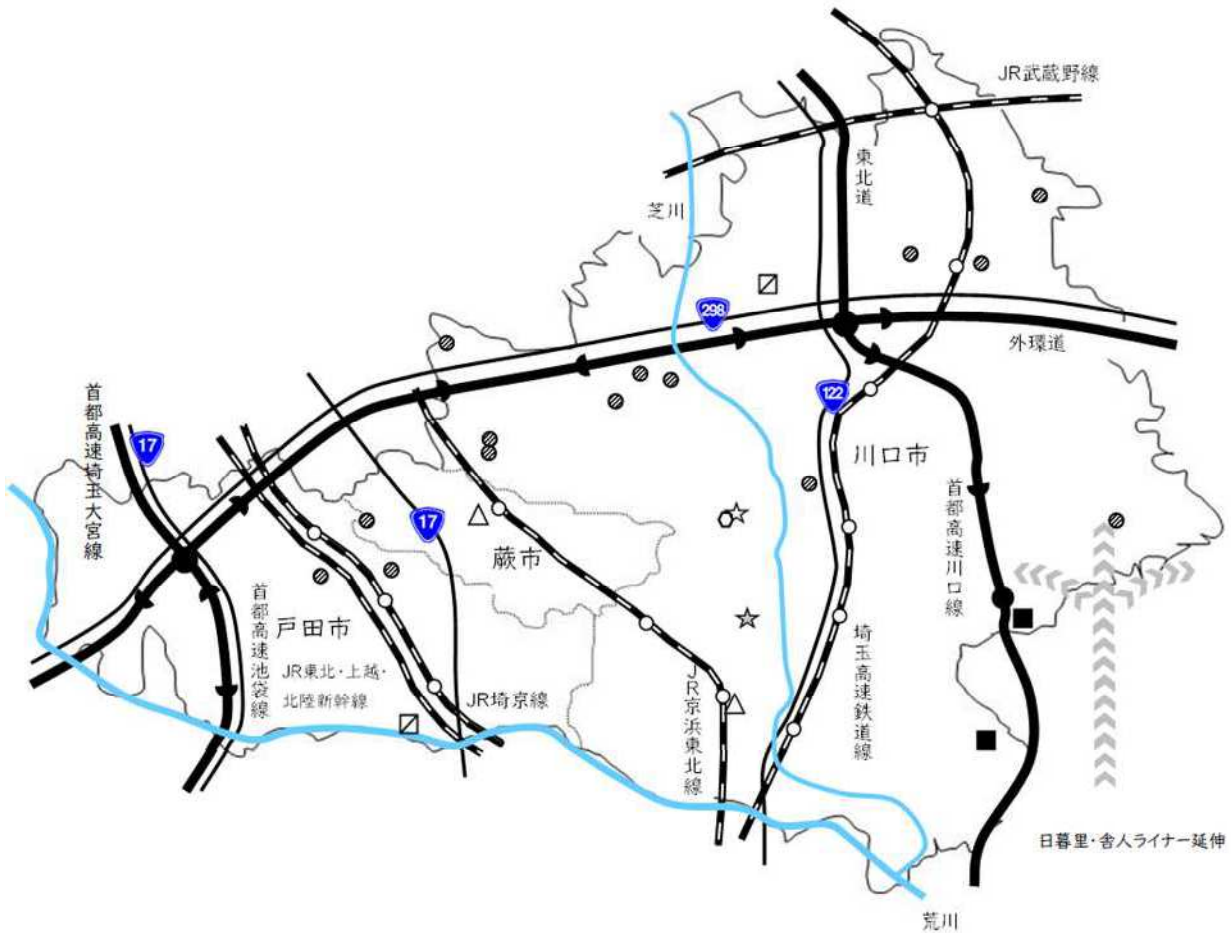
また、生産の盛んな花植木などの地域の特徴を生かした生産振興を更に進め、農業の収益性を高めます。

アクセス性を高める道路の整備を進めるとともに、誰もが快適に利用できる公共交通ネットワークの環境構築に向け、第三セクター鉄道\*（埼玉高速鉄道線）の運営の支援に取り組みます。また、日暮里・舎人ライナーの延伸、既設線延伸以外の新たな交通システム導入の検討を進めます。

潤いのある豊かな都市空間の実現に向けて、多様な主体と連携した身近な緑の創出・保全・活用を進めるとともに、豊かな生態系を育む自然公園の保全や見沼田圃<sup>たんぼ</sup>の保全・活用を行います。

#### ④ 主な施設・交通網と基盤整備の状況

南部地域



凡 例	
	自動車専用道路 (●, ◐ : JCT又はIC)
	国道
	鉄道 (○: 駅)
	交通政策審議会未答申路線
	工業団地 (流通業務団地含む)
	土地区画整理事業施行中地区
	市街地再開発事業施行中地区
	(県) 博物館、美術館、水族館、動物園
	(県) 図書館、専門校、多目的ホール等
	(県) 公園・スポーツ施設等
	(県) 産業支援・研究施設

## ⑤ 主な取組(南部地域)

### (ア) 安全で安心な社会

- a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>
  - 首都直下地震に備えた、国道122号や298号などの道路啓開体制\*の強化
  - 集中豪雨及び局地的大雨対策の実施
  - 笹目川などの河川改修
  - 土砂災害警戒区域における警戒避難体制の強化
  - 流域下水道施設の適切な維持管理
- b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>
  - 地域との連携による防犯活動の実施
  - 子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施
  - 生活科学センター(彩の国くらしプラザ)における体験型学習機会の提供
- c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>
  - 急速な高齢化に対応した地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援
  - 在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援
  - サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

- d 子どもまんなか社会\*を実現する<子ども・教育分野>
  - 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進
  - 保育所、認定こども園\*の整備などの促進
  - 特別支援学校の学習環境の整備・充実
  - 特に多く在籍している日本語指導が必要な児童生徒への教育支援
- e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>
  - 孤独・孤立対策の推進
  - 発達障害者就労支援センター(ジョブセンター川口)による就労支援
  - 埼玉未来大学\*による高齢者の社会参加の支援
- f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>
  - 多言語による情報提供や相談体制の確保
  - 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実

### (ウ) 持続的に成長・発展する社会

- g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>

- 産学官連携の推進や知的財産の活用\*支援
- 優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約化の促進
- 生産の盛んな花植木など地域の特徴を生かした生産振興の支援
- h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>
  - 幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化
  - 安全な市街地を形成する土地区画整理事業\*や市街地再開発事業\*の促進
  - 第三セクター鉄道\*(埼玉高速鉄道線)の経営安定化の支援
  - あと数マイル・プロジェクト\*の推進(日暮里・舎人ライナー)
- i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>
  - 地元自治体や関係団体などと連携した身近な緑の創出・保全・活用
  - 豊かな生態系を育む自然公園の保全
  - 見沼田圃<sup>たんぼ</sup>の保全・活用・創造

## (2) 南西部地域

(朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町)

### ① 地域の概要

東京都と隣接した県の南端にあり、都心から20～30km圏に位置しています。地域のほとんどが武蔵野台地など台地の上にあり、荒川や新河岸川などの河川が流れ、荒川沿いには低地が広がっています。

和光、朝霞、新座、ふじみ野は川越街道の宿場町として、志木、富士見、ふじみ野は新河岸川の舟運によって栄えました。

また、かつて台地上では水の確保が困難でしたが、江戸時代に野火止用水が開削されてから新田開発が進みました。短冊状の地割が特徴の三富新田を中心とする三富地域に伝わる「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は日本農業遺産に認定され、さらに令和5年には関東地方初の世界農業遺産にも認定されました。

大正以降、鉄道の開通とともに駅を中心に新たな市街地が形成され、高度経済成長期には大規模な住宅団地の建設や宅地化が進み、人口が急増しました。現在も、商業施設や保育施設との複合型集合住宅が開発されているほか、研究機関や大学、国の機関などが多く立地しています。

地域内は外環道や関越道、国道254号・463号などにより、広域的な道路網が形成されています。さらに、令和5年に国道254号和光富士見バイパスの志木市から富士見市の区間が供用開始し、利便性が向上しました。また、東西南北をJR武蔵野線と東武東上線が結び、さらに、東武東上線から東京メトロ副都心線を経て東急東横線、横浜高速みなどみらい線までが相互直通運転により一つの路線でつながるなど広域的な交通網が形成されています。

### ② 地域の現状と課題

この地域は、人口73万人(令和7年)、県人口の10.1%を占めると推計されており、10代から30代が大きく転入超過(令和7年)となっていることが特徴です。

浸水被害の軽減など、災害に強い安全な都市空間を形成するため、防災・治水対策が求められます。

合計特殊出生率(令和6年)は県内でさいたま地域に次いで高くなっています。子育て世帯の多い30代の転入超過数(令和7年)も多いことから、子育て環境の一層の充実が必要です。

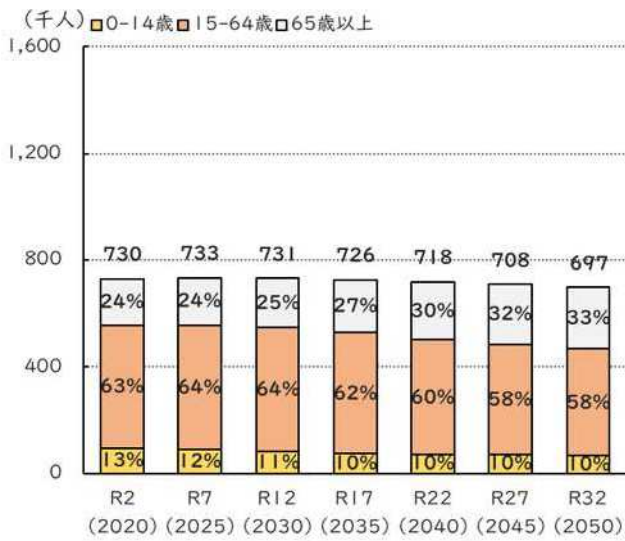
生産年齢人口の割合(令和7年)は県内で南部地域に次いで高くなっています。

高齢化率(令和7年)は県平均より低くなっていますが、令和32年(2050年)までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は5.5ポイント増加し約20%に達する見込みです。

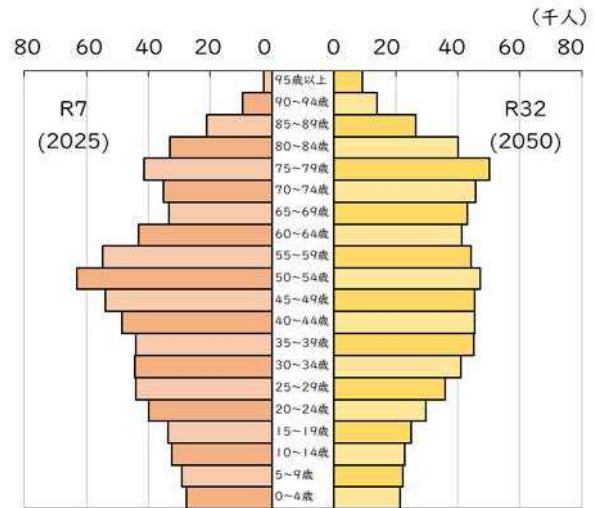
このほか、米軍基地跡地の活用や幹線道路網の強化などを進めることが求められます。

理化学研究所などの研究機関や大学が立地する利点を生かし、新たな製品・技術の開発や産学官連携による成長産業の育成などを促進し、その効果を県全体に波及させることが必要です。

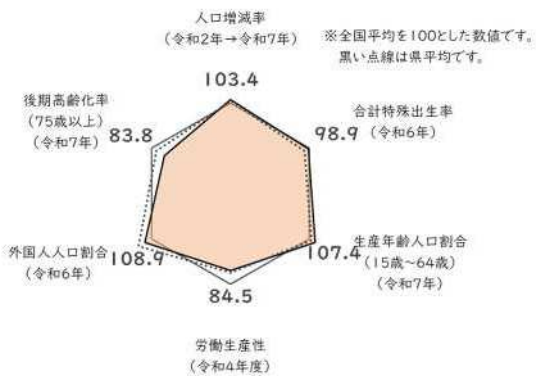
### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



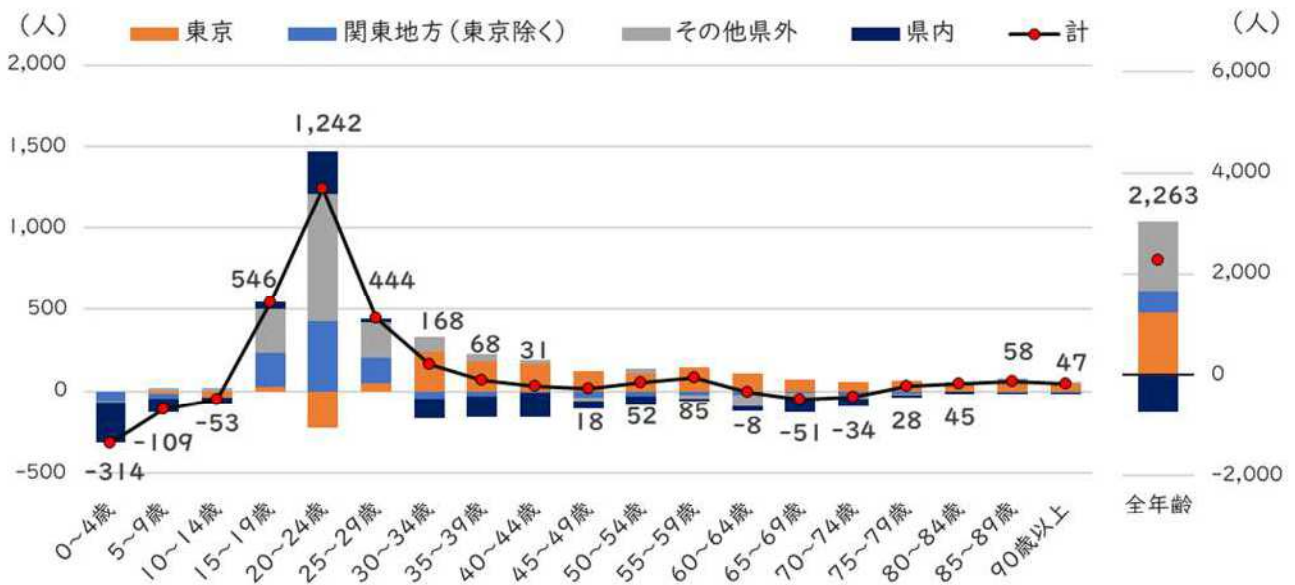
### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

南西部地域	令和5年度 域内総生産 (億円)		全県に おける シェア (%)	県内総生産 (億円)		令和5年 (参考) 全国の総生産 割合 (%)
		割合 (%)			割合 (%)	
全体	21,736	100%	8.4%	258,867	100%	100%
1次産業	41	0.2%	4.9%	823	0.3%	0.9%
2次産業	4,161	19.1%	6.1%	67,794	26.2%	26.1%
3次産業	17,315	79.7%	9.2%	187,644	72.5%	72.9%

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性（南西部地域）

武蔵野台地や荒川沿いの低地が広がるこの地域では、首都直下地震や台風などの災害に備え、国道254号及び298号などの道路啓開体制\*の強化や新河岸川などの河川改修を行うとともに、災害時の避難体制の強化などを進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、流域下水道施設の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策や予防保全型のインフラマネジメントを行います。

地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに、高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し、暮らしの安全・安心を確保します。

地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築するとともに、サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保など、高齢者が地域で安心して生活できる住環境の構築を進めます。

待機児童の解消に向けた保育所などの整備や放課後の安全・安心な居場所づくりを促進し、子育てしやすい環境の充実に努めます。また、知的障害特別支援学校の児童生徒数は引き続き増加傾向にあるため、過密解消に向けた整備を行います。

孤独・孤立の予防や解消に向け、関係機関との連携による取組を推進します。

多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

プロ・トップスポーツチーム（ハンドボール、アメリカンフットボールなど）との連携をはじめとし、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実に努めます。

大学や研究機関との連携を通じて、企業のイノベーション\*創出を支援することにより、中小企業の競争力を高め、地域の稼ぐ力を向上させます。

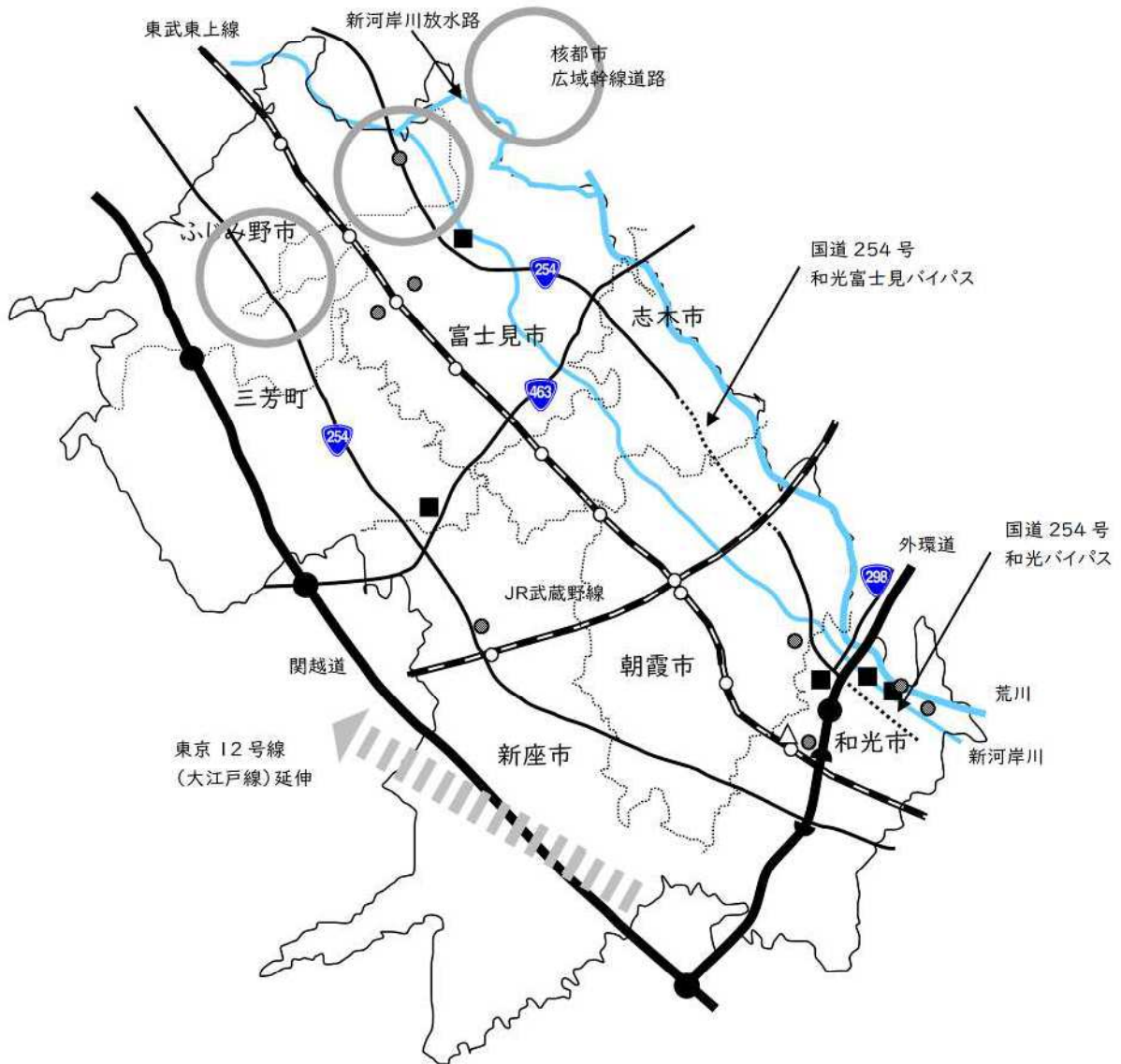
また、さつまいも、ほうれんそう、にんじんなど地域の特徴を生かした生産振興を更に進め、農業の収益性を高めます。

国道254号和光富士見バイパスの整備などアクセス性を高める道路を整備します。また、東京12号線（大江戸線）延伸に向けた検討を進めます。米軍基地跡地について、地域の意向に沿った利用がなされるよう支援します。

潤いのある豊かな都市空間の実現に向けて、多様な主体と連携した身近な緑の創出・保全・活用を行います。また、伝統的な落ち葉堆肥農法等を次代に引き継ぐ取組を支援します。

#### ④ 主な施設・交通網と基盤整備の状況

##### 南西部地域



凡 例	
	自動車専用道路 (●, ▲: JCT又はIC)
	国道
	国道 (事業区間)
	検討中の道路
	鉄道 (○: 駅)
	交通政策審議会答申路線
	工業団地 (産業団地含む)
	土地区画整理事業施行中地区
	市街地再開発事業施行中地区

## ⑤ 主な取組(南西部地域)

### (ア) 安全で安心な社会

- a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>
  - 首都直下地震に備えた、国道254号や298号などの道路啓開体制\*の強化
  - 集中豪雨及び局地的大雨対策の実施
  - 新河岸川などの河川改修
  - 土砂災害警戒区域における警戒避難体制の強化
  - 流域下水道施設の適切な維持管理
- b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>
  - 地域との連携による防犯活動の実施
  - 子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施
- c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>
  - 急速な高齢化に対応した地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援
  - 在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援
  - サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

- d こどもまんなか社会\*を実現する<こども・教育分野>
  - 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進
  - 保育所、認定こども園\*の整備などの促進
  - 放課後児童クラブ\*の充実
  - 特別支援学校の学習環境の整備・充実
  - 多く在籍している日本語指導が必要な児童生徒への教育支援
- e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>
  - 孤独・孤立対策の推進
- f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>
  - 多言語による情報提供や相談体制の確保
  - 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実

### (ウ) 持続的に成長・発展する社会

- g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>
  - 産学官連携の推進や知的財産の活用\*支援
  - さつまいも、ほうれんそう、にんじんなど地域の特徴を生かした生産振興の支援

○優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約化の促進

h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>

○幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化

○安全な市街地を形成する土地区画整理事業\*や市街地再開発事業\*の促進

○米軍基地跡地の有効利用

○あと数マイル・プロジェクト\*の推進(東京12号線(大江戸線))

i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>

○地元自治体や関係団体などと連携した身近な緑の創出・保全・活用

○三富<sup>さんどめ</sup>地域の平地林の整備・保全・活用

### (3) 東部地域

(春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)

#### ① 地域の概要

東京都に隣接し、都心から15～40km圏に位置しています。地域全体に低地が広がり、県境を流れる江戸川をはじめとして、中川、大落古利根川、綾瀬川などの河川や葛西用水などの用水路が縦横に走る豊かな水に恵まれた地域です。

古くから水田が開拓され稲作の盛んな地域であり、中でも三郷や吉川は、二郷半領と呼ばれる早場米の産地として知られていました。草加、越谷、春日部は奥州・日光街道の宿場町としても栄え、中川、綾瀬川などには河岸が置かれて舟運が発達し、米などの集散地として発展しました。また、草加のせんべい、春日部の桐たんす、越谷のだるまなどの特産品の産地でもあります。

明治以降、鉄道の開通とともに新たな市街地が形成され、金属や食料品といった製造業の集積が進みました。東京都に近接する利便性から、高度経済成長期には草加松原団地などの大規模団地への入居や宅地の開発も進み人口が急増しました。その後、つくばエクスプレスの開業により交通利便性が更に向上し、大型商業施設の開設、新たな市街地の形成などが相次いでいます。

JR武蔵野線、東武伊勢崎線・野田線、つくばエクスプレスが地域の東西南北を結び、外環道や常磐道、首都高速三郷線のほか、国道4号・16号などが広域的な交通網を形成しています。また、令和5年に常磐道の三郷料金所スマートインターチェンジ\*と千葉県を結ぶ三郷流山橋有料道路が供用開始され、令和7年には当該インターチェンジの東京方面出入口が開通し、この地域の交通利便性が向上しました。

#### ② 地域の現状と課題

この地域は、人口115万人(令和7年)、県人口の15.7%を占めると推計されており、20代から30代が大きく転入超過(令和7年)となっていることが特徴です。

低地に市街地が広がっているため、台風などに対する防災・治水対策を強化することが求められます。

また、令和7年1月に八潮市内で流域下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没事故が発生しており、公共インフラを適切に維持していくために、戦略的なインフラマネジメントが求められています。

合計特殊出生率(令和6年)は県内で中位の水準です。子育て世帯の多い30代の転入超過数(令和7年)も多く、子育て環境の一層の充実が必要です。

生産年齢人口の割合(令和7年)は県内で中位の水準です。

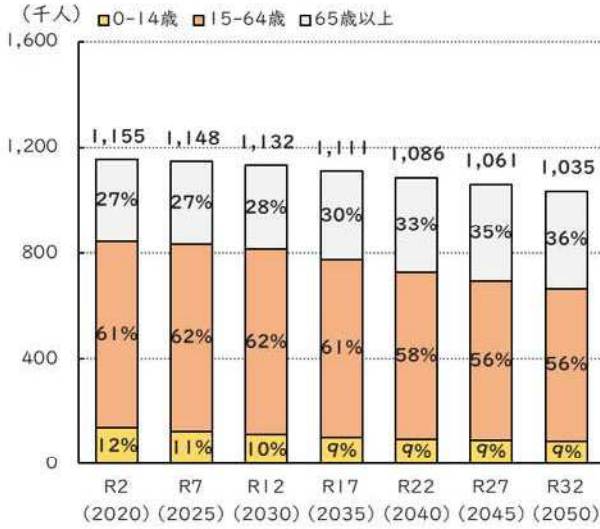
高齢化率(令和7年)は県平均よりわずかに低くなっていますが、令和32年(2050年)までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は5.3ポイント増加し約

22%に達する見込みです。そのため、在宅医療連携拠点\*の機能強化など、高齢者を支える体制の充実が求められます。

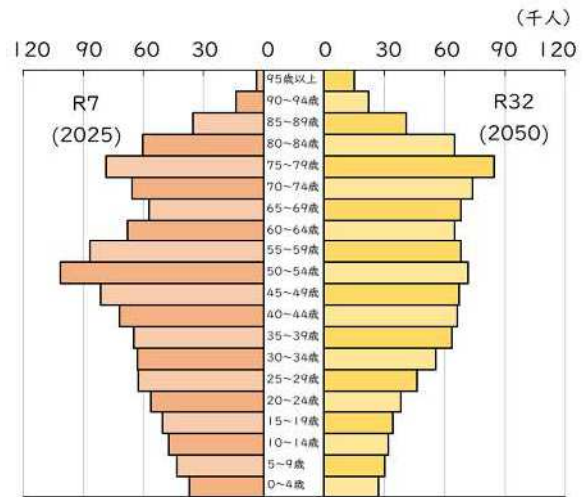
特産農産品や伝統的な名産品、旧日光街道、アニメゆかりの地といった地域資源にも恵まれており、これらを有効活用し地域の魅力を発信していくことが求められます。

東埼玉道路などの幹線道路網の強化、安全で快適な都市空間の形成、水辺空間の活用や優良な都市景観、大規模商業施設を生かしたにぎわいのあるまちづくりが期待されています。

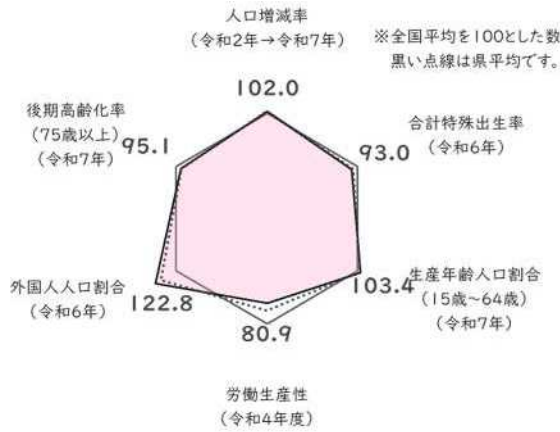
### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



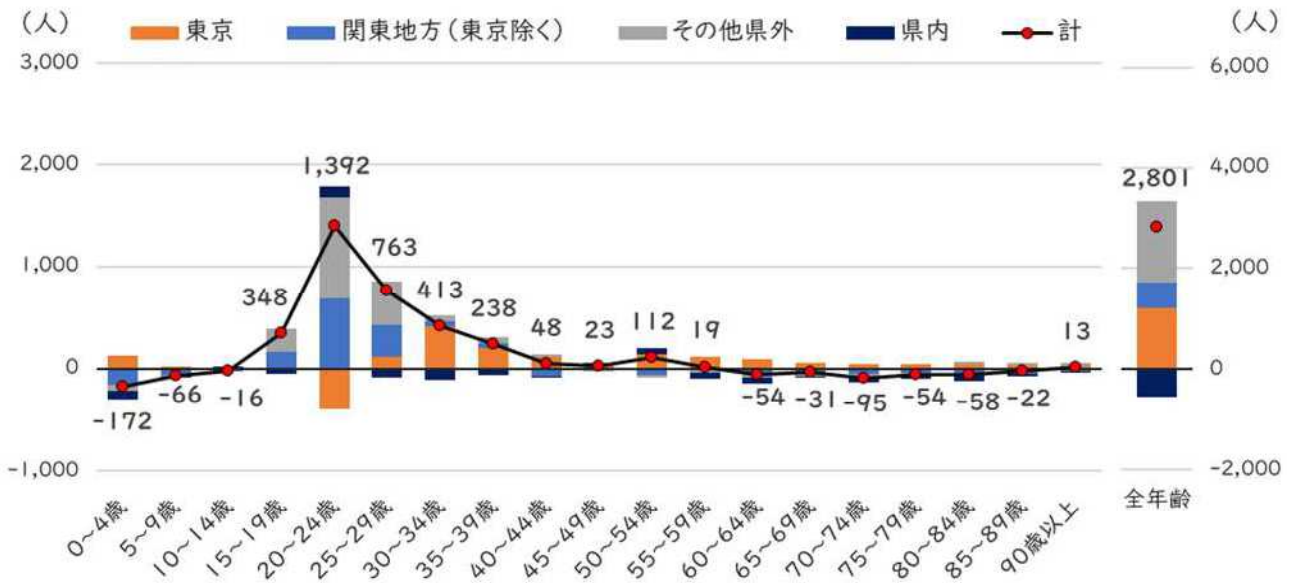
### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

東部地域	令和5年度 域内総生産 (億円)		全県におけるシェア (%)		令和5年 県内総生産 (億円)		(参考) 全国の総生産	
	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)
全体	35,191	100%	13.6%	258,867	100%	100%		
1次産業	45	0.1%	5.5%	823	0.3%	0.9%		
2次産業	9,128	25.9%	13.5%	67,794	26.2%	26.1%		
3次産業	25,663	72.9%	13.7%	187,644	72.5%	72.9%		

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性（東部地域）

低地に市街地が広がり、河川や用水路が走る豊かな水に恵まれたこの地域では、首都直下地震や台風などの災害に備え、国道4号及び16号などの道路啓開体制\*の強化や新方川などの河川改修を行うとともに、災害時の避難体制の強化などを進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、八潮市内で発生した流域下水道管の破損の抜本的対策として、複線化工事を行うとともに、流域下水道施設の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策や予防保全型のインフラマネジメントを行います。

県民の生活に身近な犯罪の増加に対応するため、地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに、交通事故による人身被害の発生状況を踏まえ、高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し、暮らしの安全・安心を確保します。

地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築するとともに、サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保など、高齢者が地域で安心して生活できる住環境の構築を進めます。

待機児童の解消に向けた保育所などの整備や放課後の安全・安心な居場所づくりを促進し、子育てしやすい環境の充実に図ります。また、知的障害特別支援学校の児童生徒数は引き続き増加傾向にあるため、過密解消に向けた整備を行います。

孤独・孤立の予防や解消に向け関係機関との連携による取組を推進します。発達障害者就労支援センター（ジョブセンター草加）で就労を希望する発達障害\*者への支援を行います。また、埼玉しごとサポート\*（春日部・草加）において、高齢者を含めた全世代の求職者が社会で活躍できるよう支援を行います。さらに埼玉未来大学\*において、高齢者が社会で活躍できるよう支援を行います。

多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

各種スポーツイベントの開催、プロ・トップスポーツチーム（バスケットボール、バスケットボール3×3など）との連携など、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実に図ります。

都市近郊農地としての有効利用を図りつつ、担い手への農地の集積・集約化を進めます。また、こまつなや日本なしなど地域の特徴を生かした生産振興を更に進め、農業の収益性を高めます。

経済活動を支える基盤となる道路網の充実に向け、東埼玉道路の整備やスマートインターチェンジ\*（（仮称）外環八潮スマートインターチェンジ）のフル化などによるアクセス改善、企業立地などを促進する幹線道路を整備します。また、線路で分断されている市街地の一体化のため、鉄道と道路の立体交差化（春日部駅付近連続立体交差事業）などを進めます。

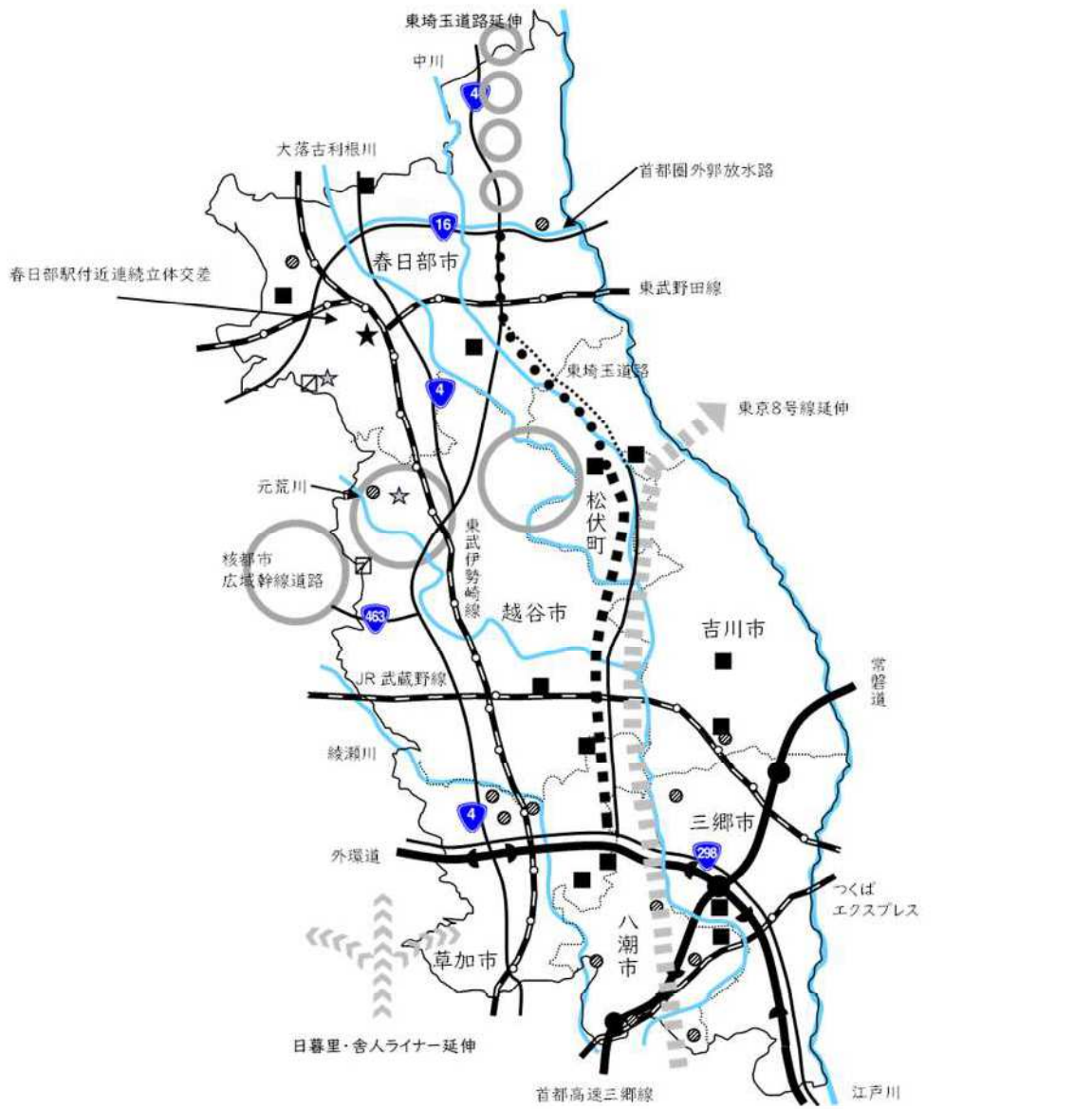
誰もが快適に利用できる公共交通ネットワークの環境構築に向け、第三セクター鉄道\*（つくばエクスプレス）の運営の支援に取り組むとともに、東京8号線の延伸に向けた検討

や日暮里・舎人ライナーの延伸、既設線延伸以外の新たな交通システム導入の検討を進めます。

潤いのある豊かな都市空間の実現に向けて、地元自治体や民間事業者などと連携した水辺空間の活用を行います。

#### ④ 主な施設・交通網と基盤整備の状況

##### 東部地域



凡 例	
●, ● (with dot)	自動車専用道路 (●, ●: JCT又はIC)
■ (with dots)	自動車専用道路 (事業区間)
● (with dots)	自動車専用道路 (計画区間)
— (solid)	国道
— (dotted)	国道 (事業区間)
○ (with dots)	検討中の道路
— (with circle)	鉄道 (○: 駅)
→ (with dots)	交通政策審議会答申路線
→ (with dots)	交通政策審議会未答申路線
■ (solid)	工業団地 (産業団地、流通業務団地含む)
● (with dots)	土地区画整理事業施行中地区
☆ (solid)	(県) 図書館、専門校、多目的ホール等
★ (solid)	(県) 体験・ふれあい施設
□ (with dots)	(県) 公園・スポーツ施設等

## ⑤ 主な取組(東部地域)

### (ア) 安全で安心な社会

- a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>
  - 首都直下地震に備えた、国道4号や16号などの道路啓開体制\*の強化
  - 集中豪雨及び局地的大雨対策の実施
  - 新方川<sup>にいがたがわ</sup>などの河川改修
  - 土砂災害警戒区域における警戒避難体制の強化
  - 八潮市道路陥没事故を踏まえた対策や流域下水道施設の適切な維持管理
- b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>
  - 地域との連携による防犯活動の実施
  - 子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施
- c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>
  - 地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援
  - 在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援
  - サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

- d こどもまんなか社会\*を実現する<こども・教育分野>
  - 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進
  - 保育所、認定こども園\*の整備などの促進
  - 放課後児童クラブ\*の充実
  - 特別支援学校の学習環境の整備・充実
  - 多く在籍している日本語指導が必要な児童生徒への教育支援
- e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>
  - 孤独・孤立対策の推進
  - 発達障害者就労支援センター(ジョブセンター草加)による就労支援
  - 埼玉しごとサポート\*(春日部・草加)における就業支援
  - 埼玉未来大学\*による高齢者の社会参加の支援
- f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>
  - 多言語による情報提供や相談体制の確保
  - 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実

○旧日光街道やアニメゆかりの地など地域資源を活用した観光振興や、多彩なツーリズムの促進支援

(ウ) 持続的に成長・発展する社会

g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>

○優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約化の促進

○こまつなや日本なしなど地域の特徴を生かした生産振興の支援

h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>

○幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化

○高規格道路\*(東埼玉道路)の整備や鉄道と道路の立体交差化

○企業立地などを促進する幹線道路の整備

○スマートインターチェンジ\*((仮称)外環八潮スマートインターチェンジ)のフル化に対する支援

○安全な市街地を形成する土地区画整理事業\*の実施と促進

○第三セクター鉄道\*(つくばエクスプレス)の経営安定化の支援

○あと数マイル・プロジェクト\*の推進(東京8号線、日暮里・舎人ライナー)

i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>

○地元自治体や民間事業者などと連携した水辺空間の利活用の促進

## (4) さいたま地域 (さいたま市)

### ① 地域の概要

県の南部、都心から20~30km圏に位置しています。関東ローム層が堆積した大宮台地などとその間を流れる河川や低地から形成されています。

江戸時代には武蔵一宮氷川神社の門前町、岩槻の城下町、中山道の宿場町として栄えました。

明治以降は行政・商業が集積する地域として発展しました。平成13年(2001年)に当時の浦和市、大宮市、与野市の合併によりさいたま市が誕生、平成15年(2003年)に県内初の政令指定都市に移行、さらに平成17年(2005年)には当時の岩槻市とも合併しました。

製造業、商業、サービス業の多様な産業が集積しているほか、さいたま市のほぼ中心に位置するさいたま新都心には国の行政機関や県立小児医療センターも立地しています。盆栽や人形などの伝統・技術が残り、さいたまスーパーアリーナや埼玉スタジアム2002公園、彩の国さいたま芸術劇場などスポーツ・文化芸術の拠点となる施設も多くあります。また、プロサッカーチームの本拠地があるなどスポーツが盛んです。

鉄道は、北海道や東北、信越、北陸とつながる新幹線6路線をはじめ、多数のJR在来線、東武野田線、埼玉高速鉄道線、埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル)が走る東日本随一の交通の要衝となっています。道路は外環道や東北道、首都高速埼玉大宮線・埼玉新都心線、国道16号・17号・122号・463号などが広域的な道路網を形成しています。

### ② 地域の現状と課題

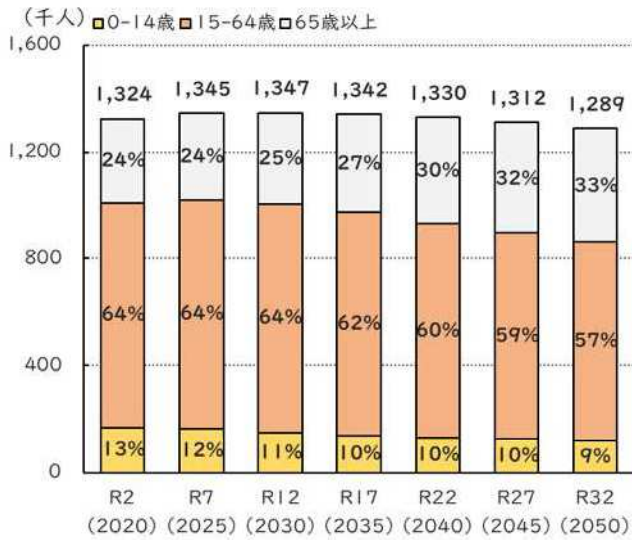
この地域は、人口135万人(令和7年)、県人口の18.5%を占めると推計されており、40代以下の世代が大きく転入超過(令和7年)となっていることが特徴です。

合計特殊出生率(令和6年)は県内で最も高くなっています。20代と子育て世帯の多い30代の転入超過数(令和7年)は県内で最も多く、結婚後も住み続けられるような地域の魅力づくりや子育て環境の一層の充実が必要です。

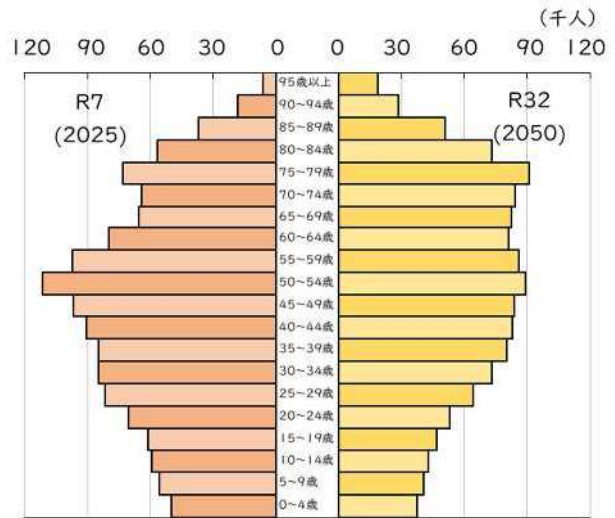
生産年齢人口の割合(令和7年)は県内で3番目に高くなっています。

高齢化率(令和7年)は南部地域に次いで低くなっていますが、令和32年(2050年)までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は6.1ポイント増加し約20%に達する見込みです。また、高齢者人口(令和7年)が県内で最も多い地域のため、急速な高齢化に対応した在宅医療連携拠点\*の機能強化など、高齢者を支える体制の充実が求められます。

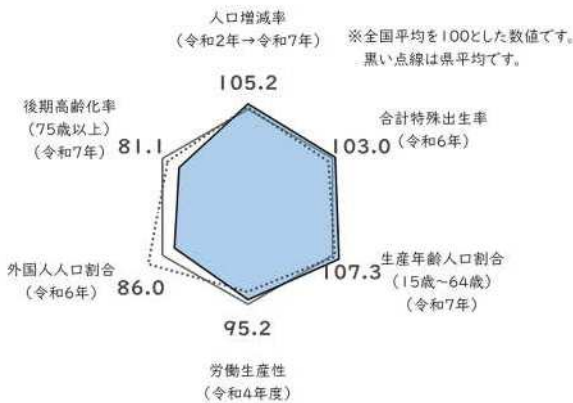
### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

さいたま地域	令和5年度 域内総生産 (億円)		全県に おける シェア (%)		県内総生産 (億円)		割合 (%)		令和5年 (参考) 全国の総生産 割合 (%)
	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合	割合
全体	52,381	100%	20.2%	258,867	100%	100%			
1次産業	50	0.1%	6.1%	823	0.3%	0.9%			
2次産業	6,083	11.6%	9.0%	67,794	26.2%	26.1%			
3次産業	45,720	87.3%	24.4%	187,644	72.5%	72.9%			

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性(さいたま地域)

人口が非常に多く様々な施設が集中するこの地域では、首都直下地震や台風などの災害に備え、国道16号及び17号などの道路啓開体制\*の強化や芝川などの河川改修を行うとともに、災害時の避難体制の強化などを進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、流域下水道施設の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策や予防保全型のインフラマネジメントを行います。

地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに、高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し、暮らしの安全・安心を確保します。

地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築します。

放課後の安全・安心な居場所づくりや、子育てしやすい環境の充実を図ります。また、知的障害特別支援学校の児童生徒数は引き続き増加傾向にあるため、過密解消に向けた整備を行います。

孤独・孤立の予防や解消に向け関係機関との連携による取組を推進します。また、セミナーや相談などによる一人一人の状況に応じた就業支援や、キャリア形成も含めた働く女性のワンストップの支援を行うとともに、埼玉しごとセンター\*において、一人一人の状況に応じた就業支援を行います。

多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

彩の国さいたま芸術劇場やさいたまスーパーアリーナ、埼玉スタジアム2002公園など、多彩な文化芸術・スポーツ拠点施設を活用するほか、プロ・トップスポーツチーム(サッカー、フットサル、バスケットボール、バスケットボール3×3、卓球、自転車ロードレース、モータースポーツなど)との連携など、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実を図ります。

渋沢MIX\*を拠点とした企業の連携・協業によるオープンイノベーション\*の創出やスタートアップの創業・成長の支援、イノベーション\*の担い手の育成を行うとともに、ものづくりイノベーション支援センター埼玉などの支援により、イノベーションの創出に取り組む製造業を後押しすることで中小企業の競争力を高め、地域の稼げる力を向上します。また、サーキュラーエコノミー推進センター埼玉\*における企業の相談への対応やマッチングの実施及びリーディングモデル構築の支援などにより県内企業のサーキュラーエコノミー\*への取組を推進します。

都市近郊農地としての有効利用を図りつつ、担い手への農地の集積・集約化を進めます。また、くわいやこまつななど地域の特徴を生かした生産振興を更に進め、農業の収益性を高めます。

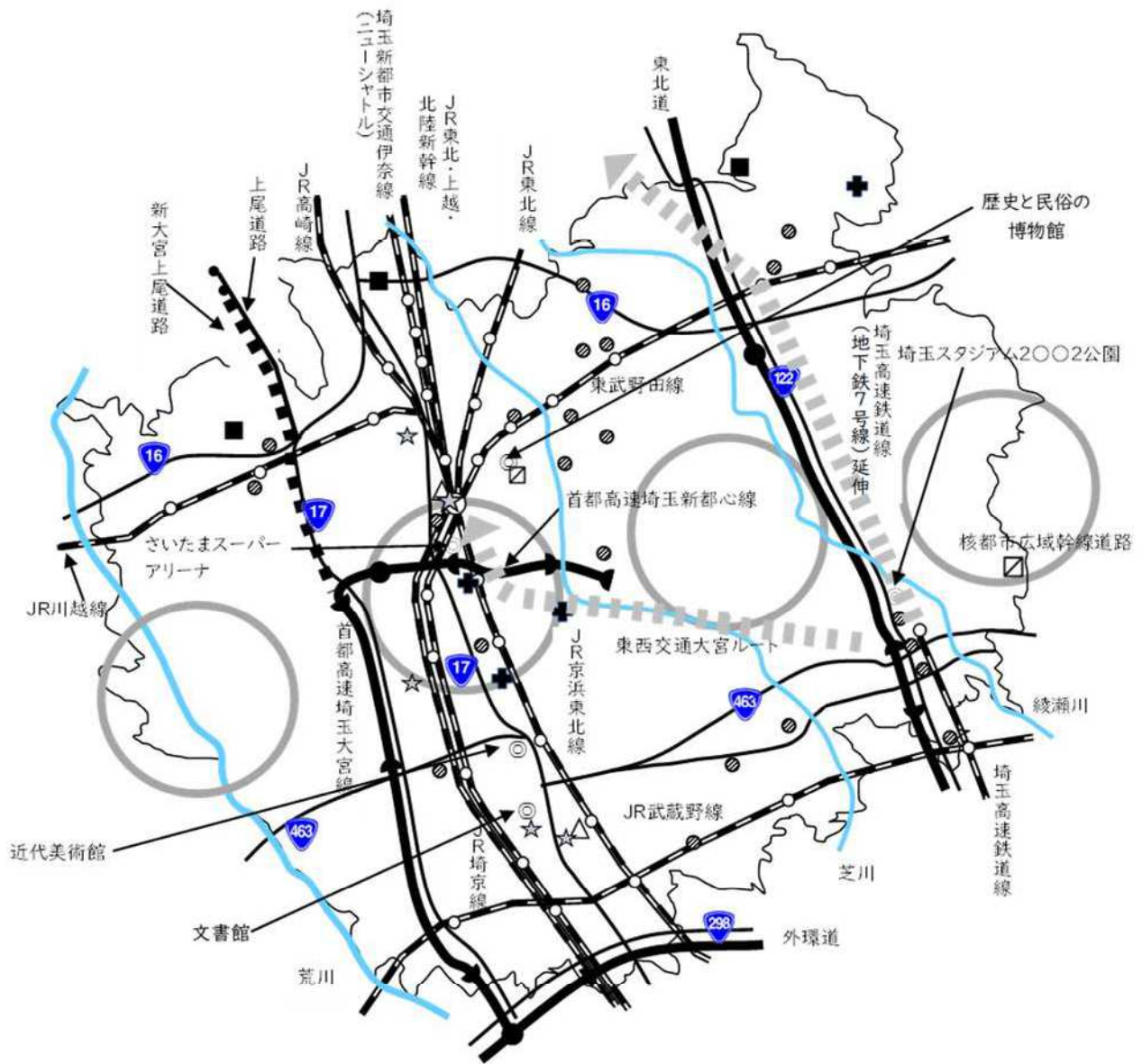
誰もが快適に利用できる公共交通ネットワークの環境構築に向け、第三セクター鉄道\*(埼玉高速鉄道線、埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル))の運営の支援に取り組むとともに、埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線)延伸の早期実現に向けた取組をさいたま市と

共に進めます。

潤いのある豊かな都市空間の実現に向けて、多様な主体と連携した身近な緑の創出・保全・活用を進めるとともに、豊かな生態系を育む自然公園の保全や見沼田圃<sup>たんぼ</sup>の保全・活用を行います。また、さいたま市や民間事業者などと連携した水辺空間の活用を行います。

#### ④ 主な施設・交通網と基盤整備の状況

さいたま地域



凡例	
	自動車専用道路(●,●:JCT又はIC)
	自動車専用道路(事業区間)
	自動車専用道路(計画区間)
	国道
	検討中の道路
	鉄道(○:駅)
	交通政策審議会答申路線
	工業団地
	主な取組に記載された主要施設
	土地区画整理事業施行中地区
	市街地再開発事業施行中地区
	(県)図書館、専門学校、多目的ホール等
	(県)公園・スポーツ施設等
	(県)医療施設・福祉施設

## ⑤ 主な取組(さいたま地域)

### (ア) 安全で安心な社会

#### a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>

- 首都直下地震に備えた、国道16号や17号などの道路啓開体制\*の強化
- 集中豪雨及び局地的大雨対策の実施
- 芝川などの河川改修
- 土砂災害警戒区域における警戒避難体制の強化
- 流域下水道施設の適切な維持管理

#### b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>

- 地域との連携による防犯活動の実施
- 子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施

#### c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>

- 急速な高齢化に対応した地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援
- 高齢者の急増に備えた在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

#### d 子どもまんなか社会\*を実現する<子ども・教育分野>

- 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進
- 保育所、認定子ども園\*の整備などの促進
- 放課後児童クラブ\*の充実
- 特別支援学校の学習環境の整備・充実
- 日本語指導が必要な児童生徒への教育支援

#### e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>

- 孤独・孤立対策の推進
- 女性の就業・キャリアアップのワンストップ支援(女性キャリアセンター\*)
- 埼玉しごとセンター\*におけるきめ細かな就業支援
- 高齢者の社会参加の支援

#### f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>

- 多言語による情報提供や相談体制の確保
- 文化財の保存、活用、情報発信など文化資源を生かした地域振興(歴史と民俗の博物館・近代美術館・文書館)

- こどもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実
- さいたまスーパーアリーナや埼玉スタジアム2002公園などを活用した多彩なツーリズムの促進支援

(ウ) 持続的に成長・発展する社会

g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>

- 渋沢MIX\*によるビジネスマッチングなどを通じたイノベーション\*創出支援
- サーキュラーエコノミー推進センター埼玉\*における事業者間のマッチングや製品の販路拡大の促進
- 県内企業のサーキュラーエコノミー\*型ビジネスへの転換支援
- 産学官連携の推進や知的財産の活用\*支援
- 優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約化の促進
- くわいやこまつななど地域の特徴を生かした生産振興の支援

h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>

- 高規格道路\*(新大宮上尾道路)の整備
- 安全な市街地を形成する土地区画整理事業\*や市街地再開発事業\*の促進
- 第三セクター鉄道\*(埼玉高速鉄道線、埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル))の経営安定化の支援
- あと数マイル・プロジェクト\*の推進(埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線))

i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>

- 地元自治体や関係団体などと連携した身近な緑の創出・保全・活用
- 地元自治体や民間事業者などと連携した水辺空間の利活用の促進
- 豊かな生態系を育む自然公園の保全
- 見沼田圃<sup>たんぼ</sup>の保全・活用・創造

## (5) 県央地域 (鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町)

### ① 地域の概要

県のほぼ中央部に位置し、都心から35～50km圏にあります。大宮台地上の起伏の少ない平坦な地形で、東側には元荒川や綾瀬川、西側には荒川が流れています。

江戸時代には中山道の宿場町として栄え、荒川の舟運の要衝でもあり、恵まれた水利や肥沃な土地を生かした田園地帯として発展してきました。桶川の紅花など多くの特産品があり、中でも鴻巣は今に続く日本有数のひな人形の生産地として知られています。さらに北本は、関東最大級の縄文時代の集落跡で、令和6年に国指定史跡に指定された「デーノタメ遺跡」を有しています。

明治以降、鉄道の開通とともに駅を中心に新たな市街地が形成され、製糸工場や機械・金属・食料品などの工場が進出し、製造業を中心とした産業の集積が進みました。また、都市近郊の立地を生かして、花き、果樹の栽培も盛んになりました。

昭和40年代以降は、企業の立地のほか、宅地化が進み人口が急増しました。昭和58年(1983年)に埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル)が開業し、沿線に新たな市街地が形成されました。また、県立がんセンターや県民活動総合センターなど医療や県民活動の中核施設が整備されました。

JR高崎線、埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル)、国道17号などによる南北方向、圏央道による東西方向の交通網が形成されています。また、情報発信機能や交流機能、災害時防災拠点としての機能など多様な役割を担う道の駅「べに花の郷おけがわ」が令和7年に開業しました。

### ② 地域の現状と課題

この地域は、人口52万人(令和7年)、県人口の7.2%を占めると推計されており、20代は東京都に対して大きく転出超過(令和7年)となっている一方、30代は県内他地域に対して大きく転入超過(令和7年)となっていることが特徴です。

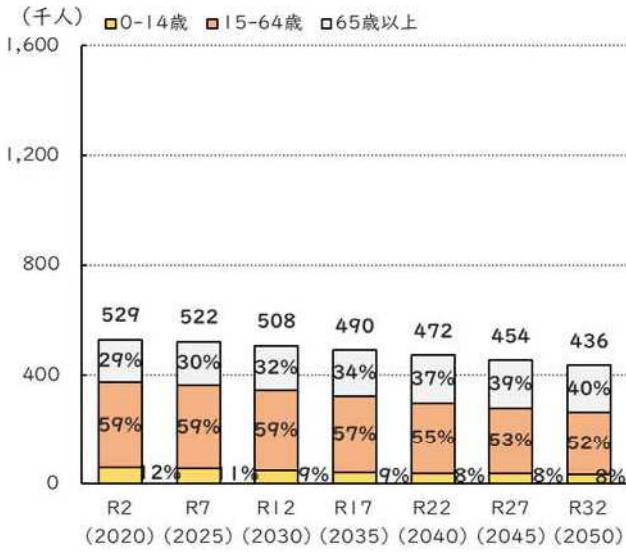
合計特殊出生率(令和6年)は県内で3番目に高くなっています。子育て世帯の多い30代の転入超過数(令和7年)も多く、子育て環境の一層の充実が必要です。

生産年齢人口の割合(令和7年)は県内で中位の水準です。

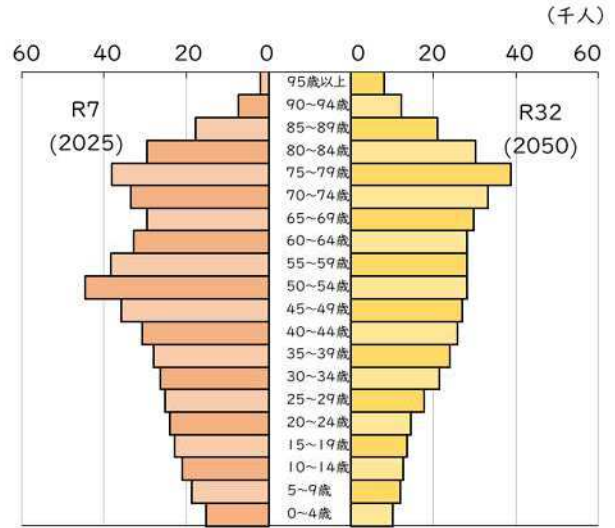
高齢化率(令和7年)は県平均よりも高く、令和32年(2050年)までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は7.0ポイント増加し約25%に達する見込みです。急速な高齢化に対応するため、高齢者を支える体制の充実が求められます。

圏央道や上尾道路の利便性から、食品関連の製造業や流通加工業など産業の集積が進んでいます。引き続き企業立地を促進して、地域経済の活力を高めていく必要があります。

### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



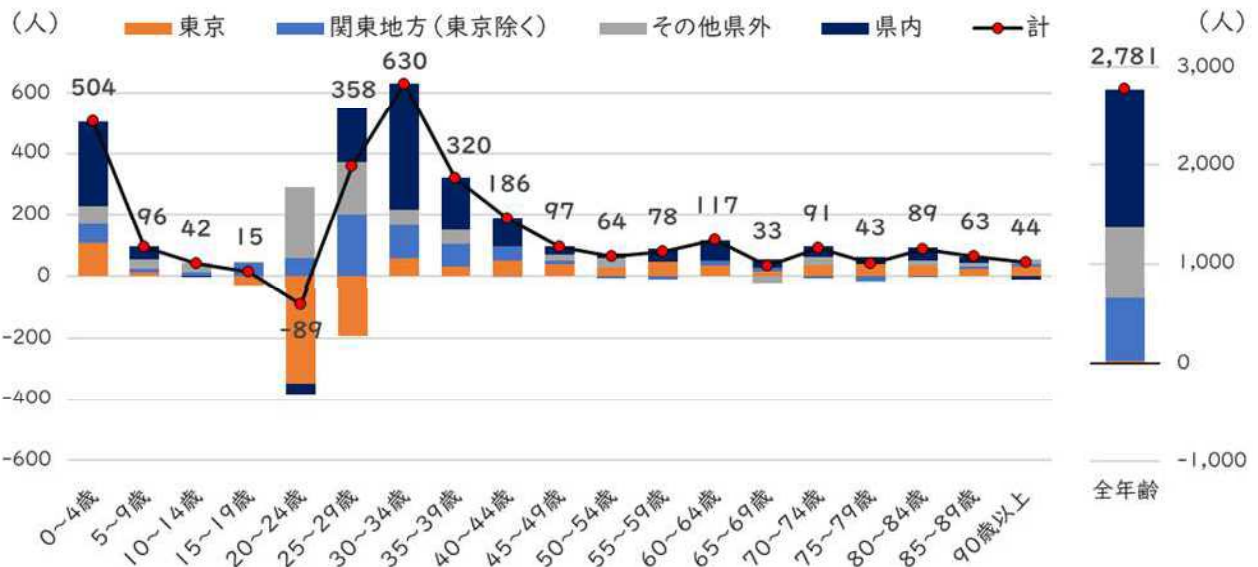
### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

県央地域	令和5年度		令和5年		令和5年 (参考) 全国の総生産 割合 (%)
	域内総生産 (億円)	割合 (%)	県内総生産 (億円)	割合 (%)	
全体	15,396	100%	258,867	100%	100%
1次産業	40	0.3%	823	0.3%	0.9%
2次産業	3,997	26.0%	67,794	26.2%	26.1%
3次産業	11,204	72.8%	187,644	72.5%	72.9%

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性（県央地域）

大宮台地上の起伏の少ない平坦な地形が広がり、産業の集積が進むこの地域では、台風や首都直下地震などの災害に備え、原市沼川などの河川改修を行うとともに、国道17号などの道路啓開体制\*や災害時の避難体制の強化を進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、流域下水道施設の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策や予防保全型のインフラマネジメントを行います。

県民の生活に身近な犯罪の増加に対応するため、地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに、高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し、暮らしの安全・安心を確保します。

地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築するとともに、サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保など、高齢者が地域で安心して生活できる住環境の構築を進めます。

待機児童の解消に向けた保育所などの整備を促進することで、子育てしやすい環境の充実に図ります。また、知的障害特別支援学校の児童生徒数は引き続き増加傾向にあるため、過密解消に向けた整備を行います。

孤独・孤立の予防や解消に向け関係機関との連携による取組を推進します。また、埼玉しごとサポート\*（伊奈）において、高齢者を含めた全世代の求職者が社会で活躍できるよう支援を行います。また、埼玉未来大学\*において、高齢者が社会で活躍できるよう支援を行います。

県民活動総合センターを拠点とし、NPOやボランティアなどの活動を支援し地域の課題解決の取組を後押しします。また、多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

各種スポーツイベントの開催、プロ・トップスポーツチーム（バレーボールなど）との連携など、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実に図ります。さらに、スポーツ科学拠点施設を整備し、パラスポーツ・デフスポーツを含む多様な競技力の向上につなげるとともに、県民のスポーツ実施率の向上や健康増進、上尾運動公園のにぎわいの創出を図ります。

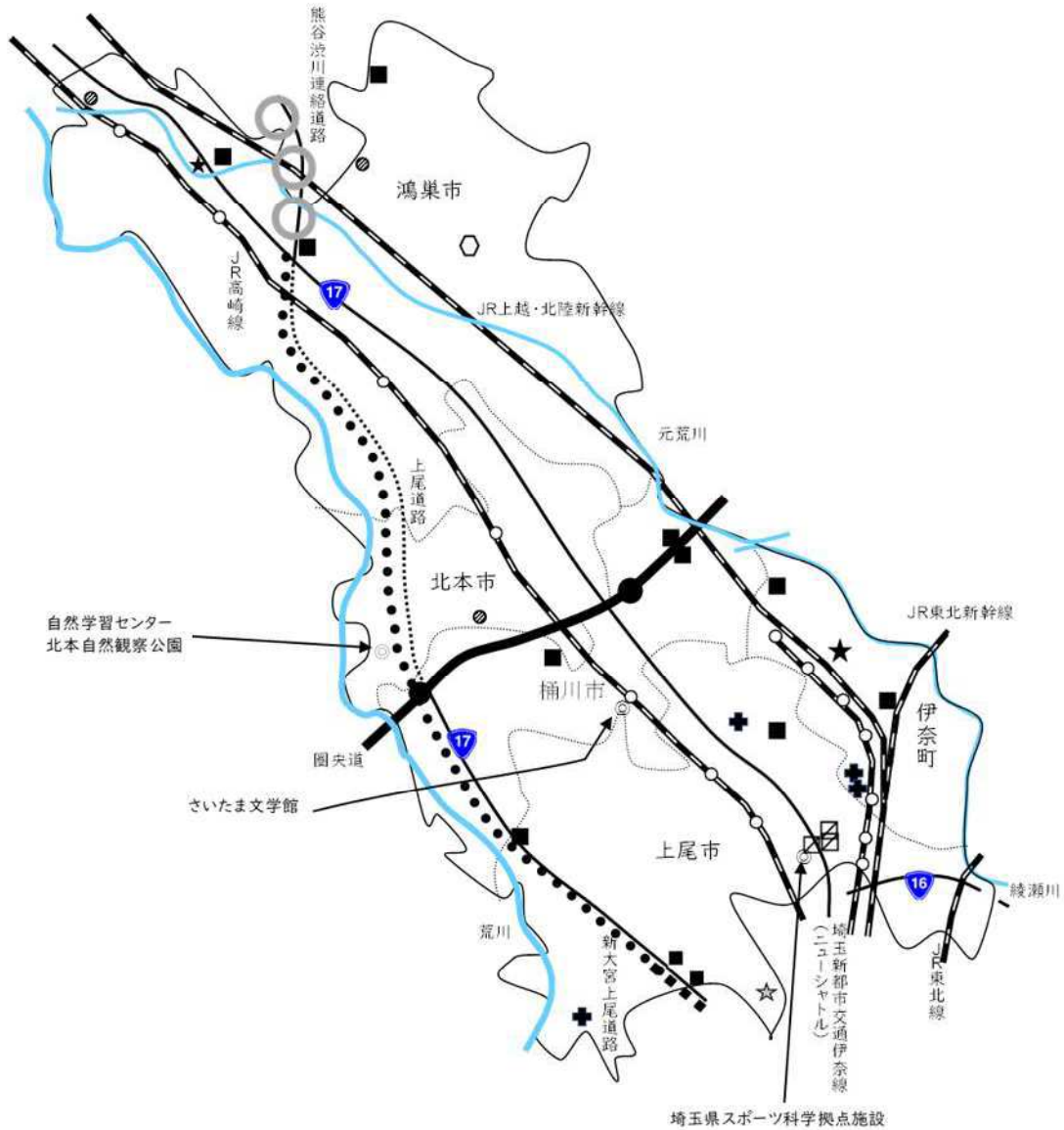
都市近郊農地としての有効利用を図りつつ、担い手への農地の集積・集約化を進めます。また、パンジーやトマトなど地域の特徴を生かした生産振興を更に進めるとともに、花壇用苗もの類の高温に対応した植栽・管理技術や品種などの開発・導入を推進し、農業の収益性を高めます。

経済活動を支える基盤となる道路網の充実に向け、新大宮上尾道路の整備などによるアクセス改善を進めるとともに、身近な道路の整備や現道拡幅を進めます。また、誰もが快適に利用できる公共交通ネットワークの環境構築に向け、第三セクター鉄道\*（埼玉新都市交通伊奈線（ニューシャトル））の運営の支援に取り組みます。

自然と調和した緑豊かな住環境の実現に向けて、多様な主体と連携した身近な緑の創出・保全・活用や豊かな生態系を育む自然ふれあい施設（自然学習センター・北本自然観察公園）の活用を行います。

#### ④ 主な施設・交通網と基盤整備の状況

##### 県央地域



凡例	
	自動車専用道路 (●, ●: JCT又はIC)
	自動車専用道路 (事業区間)
	自動車専用道路 (計画区間)
	国道
	国道 (事業区間)
	検討中の道路
	鉄道 (○: 駅)
	工業団地 (産業団地含む)
	主な取組に記載された主要施設
	土地区画整理事業施行中地区
	(県) 図書館、専門校、多目的ホール等
	(県) 体験・ふれあい施設
	(県) 公園・スポーツ施設等
	(県) 医療施設・福祉施設
	(県) 産業支援・研究施設

## ⑤ 主な取組(県央地域)

### (ア) 安全で安心な社会

#### a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>

- 首都直下地震に備えた、国道17号などの道路啓開体制\*の強化
- 集中豪雨及び局地的大雨対策の実施
- 原市沼川などの河川改修
- 土砂災害警戒区域における警戒避難体制の強化
- 流域下水道施設の適切な維持管理

#### b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>

- 地域との連携による防犯活動の実施
- 子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施

#### c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>

- 急速な高齢化に対応した地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援
- 高齢者の急増に備えた在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援
- サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

#### d 子どもまんなか社会\*を実現する<子ども・教育分野>

- 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進
- 保育所、認定子ども園\*の整備などの促進
- 特別支援学校の学習環境の整備・充実
- 日本語指導が必要な児童生徒への教育支援

#### e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>

- 孤独・孤立対策の推進
- 埼玉しごとサポート\*(伊奈)における就業支援
- 埼玉未来大学\*による高齢者の社会参加の支援

#### f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>

- 県民活動総合センターを拠点とした多様な主体による地域課題解決の取組の促進
- 多言語による情報提供や相談体制の確保
- 文化財の保存、活用、情報発信など文化資源を生かした地域振興(さいたま文学館)
- 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実

○スポーツ科学拠点施設の整備

(ウ) 持続的に成長・発展する社会

g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>

○優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約化の促進

○パンジーやトマトなど地域の特徴を生かした生産振興の支援

h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>

○幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化

○高規格道路\*(新大宮上尾道路)の整備

○安全な市街地を形成する土地区画整理事業\*の促進

○第三セクター鉄道\*(埼玉新都市交通伊奈線(ニューシャトル))の経営安定化の支援

i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>

○地元自治体や関係団体などと連携した身近な緑の創出・保全・活用

○豊かな生態系を育む自然ふれあい施設(自然学習センター北本自然観察公園)の活用

## (6) 川越比企地域

(川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村)

### ① 地域の概要

県のほぼ中央部に位置し、都心から30～70km圏にあります。地域の西側は外秩父山地の外縁に属し、岩殿・比企などの丘陵地帯、入間・川越などの台地を経て、東端の荒川低地へと続く起伏に富んだ地形となっています。

城下町である川越は新河岸川の舟運などで江戸と結ばれ、小江戸と称されるほど繁栄しました。東松山、坂戸、嵐山、小川には川越・児玉往還や日光脇往還の宿場町が置かれ、農産物や和紙などの取引が盛んに行われました。現在も残る川越の蔵造りの町並み、越生の梅林、滑川にある国営武蔵丘陵森林公園、小川や東秩父の細川紙など、魅力ある地域資源に恵まれています。さらに東松山、滑川、嵐山、小川、吉見にまたがる「比企丘陵地域」の「ため池かんがい」を基盤とする「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」が、令和5年に日本農業遺産に認定されました。

明治以降、川越は本県最大の商業都市として栄え、大正11年(1922年)には県内で初めて市制を施行しました。また、鉄道の開通とともに各駅の周辺に新たな市街地の形成が進みました。

昭和40年代から50年代にかけて鳩山ニュータウンなどの大規模な宅地開発が進み、人口が急激に増加しました。大規模工業団地である川越狭山工業団地のほか多くの工業団地が造成されました。近年では、圏央鶴ヶ島インターチェンジの隣接地にSAITAMAロボティクスセンター(仮称)の整備を進めており、総合重工業メーカーの航空事業部が進出するなど、産業集積が進んでおり、地域の中小企業への波及効果や雇用の増加が期待されています。

JR八高線・川越線、東武東上線・越生線、西武新宿線が東西南北に走り、関越道、圏央道、国道16号・254号・407号が広域的な交通網を形成しています。また、地域の経済活動を支える本田小川線バイパス及び赤浜小川線バイパスが令和6年に全線供用開始し、交通利便性が向上しました。

### ② 地域の現状と課題

この地域は、人口78万人(令和7年)、県人口の10.7%を占めると推計されており、20代が大きく転出超過(令和7年)となっている一方で、その他の年代では転入超過(令和7年)となっていることが特徴です。

合計特殊出生率(令和6年)は県内で低位の水準です。20代の転出超過数(令和7年)が多く、この世代を地域に呼び込むため、雇用の創出や就業の支援が必要です。

生産年齢人口の割合(令和7年)は県内で中位の水準です。

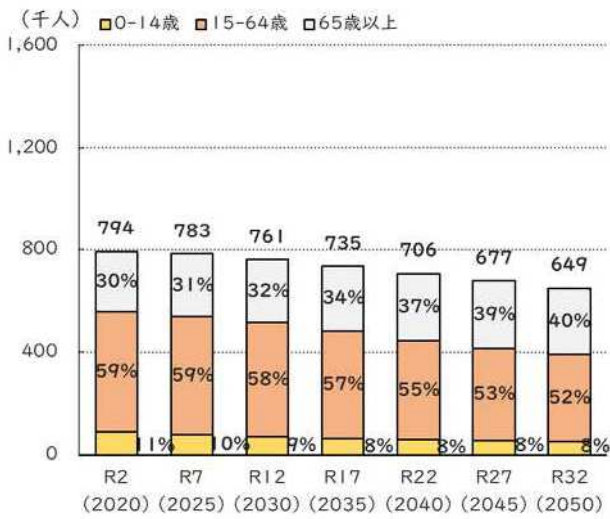
高齢化率(令和7年)は県平均よりも高く、令和32年(2050年)までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は6.5ポイント増加し約25%に達する見込みで

す。そのため、在宅医療連携拠点\*の機能強化など、高齢者を支える体制の充実が求められます。

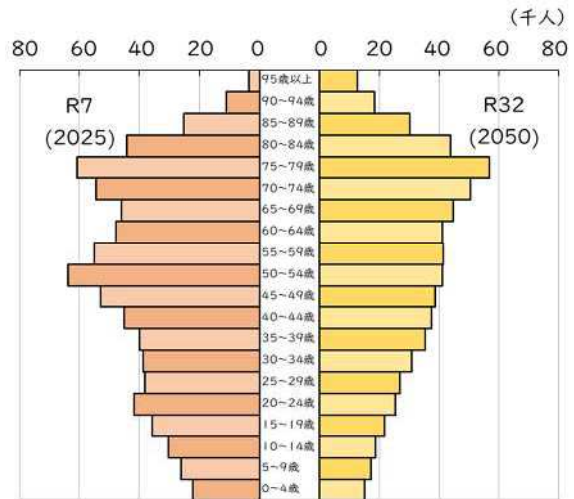
川越の蔵造りの町並みなど、この地域が持つ資源を活用した地域活性化の取組が期待されています。

自動車関連、航空機関連の企業が立地するなど裾野が広い産業の集積も進んでいることから、地域の中小企業の受注機会拡大や関連企業の更なる立地が期待されます。また、ロボットといった成長分野への投資により県内企業の競争力の強化が求められます。

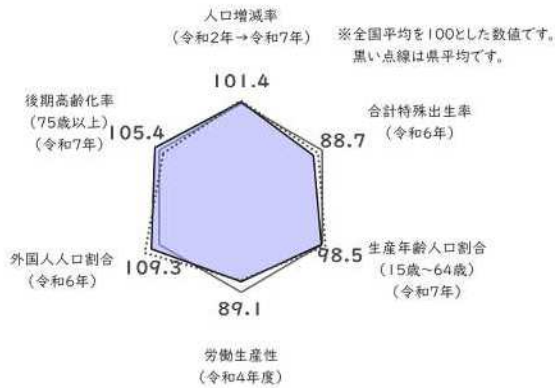
### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



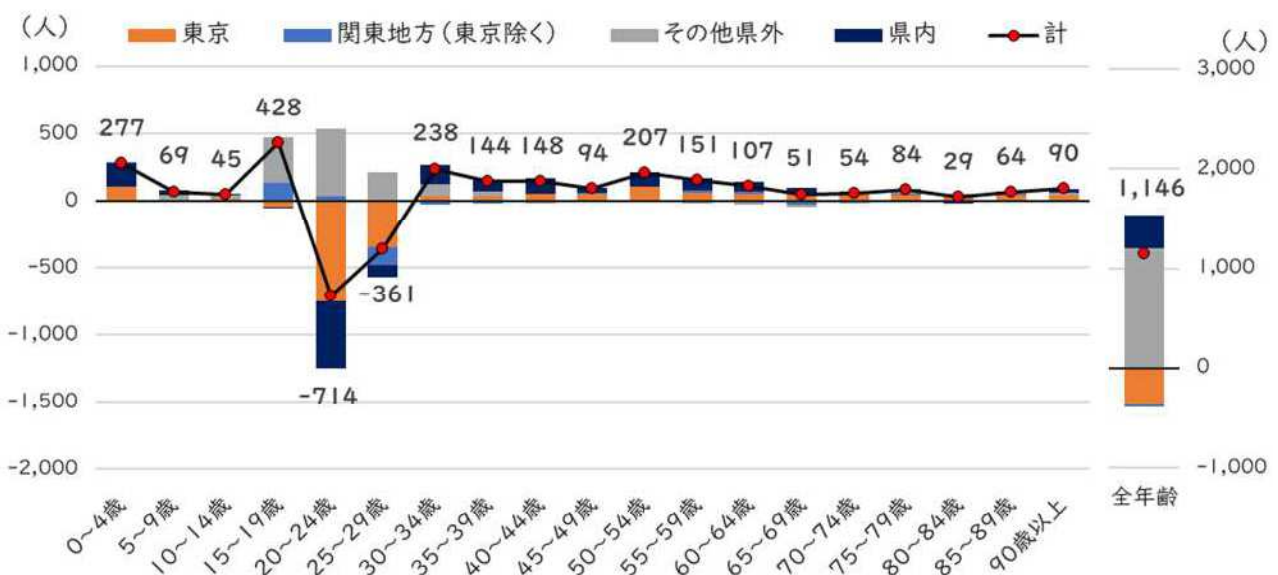
### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

川越比企地域	令和5年度 域内総生産 (億円)		県内総生産 (億円)		令和5年 (参考) 全国の総生産 割合 (%)
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
全体	30,940	100%	258,867	100%	100%
1次産業	97	0.3%	823	0.3%	0.9%
2次産業	10,314	33.3%	67,794	26.2%	26.1%
3次産業	20,218	65.3%	187,644	72.5%	72.9%

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性（川越比企地域）

丘陵や台地、荒川の低地など起伏に富んだ地形を持つこの地域では、台風や地震、土砂災害などに備え、九十九川や飯盛川などの河川改修や土砂災害のおそれがある区域における砂防関係施設の整備を行うとともに、国道16号及び254号などの道路啓開体制\*や災害時の避難体制の強化を進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、山崩れなどの復旧整備や新たな崩壊等のおそれがある山地への治山施設\*の整備を行います。さらに、流域下水道施設の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策や予防保全型のインフラマネジメントを行います。

県民の生活に身近な犯罪の増加に対応するため、地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに、交通事故による人身被害の発生状況を踏まえ、高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し、暮らしの安全・安心を確保します。

地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築するとともに、サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保など、高齢者が地域で安心して生活できる住環境の構築を進めます。

待機児童の解消に向けた保育所などの整備を促進することで、子育てしやすい環境の充実に図ります。

孤独・孤立の予防や解消に向け関係機関との連携による取組を推進します。発達障害者就労支援センター（ジョブセンター川越）で就労を希望する発達障害\*者への支援を行います。また、埼玉しごとサポート\*（川越）において、高齢者を含めた全世代の求職者が社会で活躍できるよう支援を行います。さらに、埼玉未来大学\*において、高齢者が社会で活躍できるよう支援を行います。

多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

各種スポーツイベントの開催、プロ・トップスポーツチーム（バスケットボール3×3など）との連携など、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実に図ります。また、こども動物自然公園や蔵造りの町並みなど、多彩な地域の資源を活用した観光振興を行います。

SAITAMAロボティクスセンター（仮称）を整備するなど、市場規模の拡大が見込まれるサービスロボット分野において県内中小企業の参入・開発を支援します。

都市近郊農地としての有効利用を図りつつ、担い手への農地の集積・集約化を進めます。また、うめやゆず、ほうれんそう、さといもなど地域の特徴を生かした生産振興を更に進め、農業の収益性を高めます。森林資源の循環利用を進める「活樹\*」を推進し健全な森林を次代に引き継いでいくため、需要に応じた量・品質の県産木材を安定的に供給できる体制の整備などを進めます。

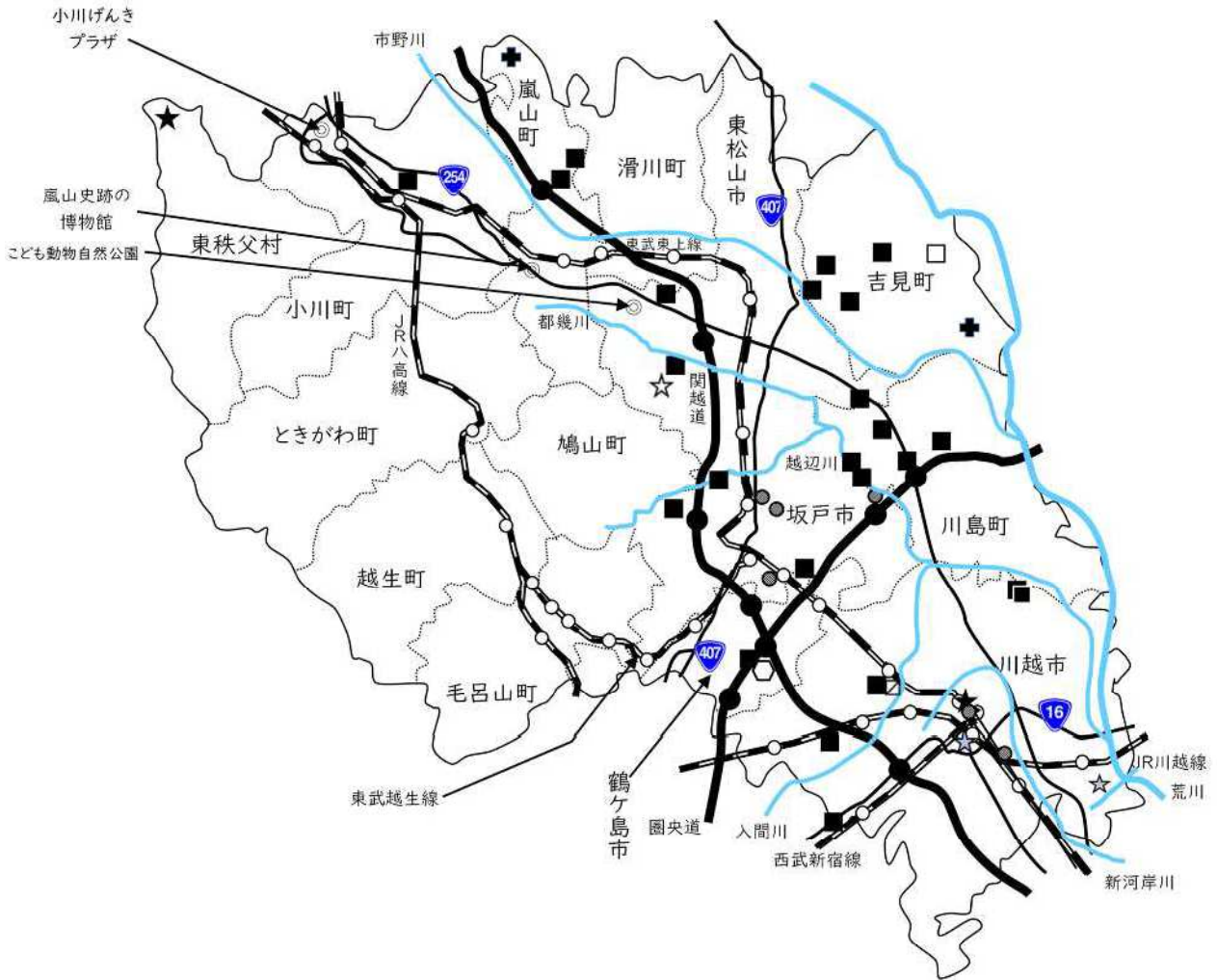
基幹となる道路や中山間地域\*の生活を支える身近な道路のバイパス整備、現道拡幅、企業立地などを促進する幹線道路を整備します。また、バス路線の維持や、地域公共交通の活性化に向けた支援により、県民の日常を支える生活交通を確保します。

自然と調和した緑豊かな住環境の実現に向けて、多様な主体と連携した身近な緑の創

出・保全・活用や豊かな生態系を育む自然公園の保全を行います。また、広葉樹植栽等による針広混交林\*の造成などにより、水源かん養機能\*を持続的に発揮できる森づくりを行います。このほか、伝統的な落ち葉堆肥農法等を次代に引き継ぐ取組を支援します。

#### ④ 主な施設・交通網と基盤整備の状況

##### 川越比企地域



凡 例	
	自動車専用道路 (●, ●: JCT又はIC)
	国道
	鉄道 (○: 駅)
	工業団地 (産業団地含む)
	工業団地 (計画・造成中、産業団地含む)
	主な取組に記載された主要施設
	土地区画整理事業施行中地区
	(県) 博物館、美術館、水族館、動物園
	(県) 図書館、専門校、多目的ホール等
	(県) 体験・ふれあい施設
	(県) 公園・スポーツ施設等
	(県) 医療施設・福祉施設
	(県) 産業支援・研究施設

## ⑤ 主な取組(川越比企地域)

### (ア) 安全で安心な社会

- a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>
  - 大地震に備えた、国道16号や254号などの道路啓開体制\*の強化
  - 集中豪雨及び局地的大雨対策の実施
  - 九十九川や飯盛川などの河川改修
  - 治山施設\*・保安林\*の整備
  - 土砂災害警戒区域における警戒避難体制の強化
  - 流域下水道施設の適切な維持管理
- b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>
  - 地域との連携による防犯活動の実施
  - 子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施
- c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>
  - 地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援
  - 在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援
  - サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保
  - 医師不足地域における医師確保の推進

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

- d 子どもまんなか社会\*を実現する<子ども・教育分野>
  - 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進
  - 保育所、認定子ども園\*の整備などの促進
  - 日本語指導が必要な児童生徒への教育支援
  - 体験活動の推進(小川げんきプラザ)
- e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>
  - 孤独・孤立対策の推進
  - 発達障害者就労支援センター(ジョブセンター川越)による就労支援
  - 埼玉しごとサポート\*(川越)における就業支援
  - 埼玉未来大学\*による高齢者の社会参加の支援
- f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>
  - 多言語による情報提供や相談体制の確保

- 文化財の保存、活用、情報発信など文化資源を生かした地域振興（嵐山史跡の博物館）
- こどもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実
- こども動物自然公園や蔵造りの町並みなど地域資源を活用した観光振興や、多彩なツーリズムの促進支援
- 農山村体験などによる都市住民との交流の拡大

(ウ) 持続的に成長・発展する社会

g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>

- 県内中小企業のロボット産業への参入と開発の支援
- 優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約化の促進
- うめやゆず、ほうれんそう、さといもなど地域の特徴を生かした生産振興の支援
- 県産木材の安定的な供給体制の整備

h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>

- 幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化
- 企業立地などを促進する幹線道路の整備
- 中山間地域\*の生活を支える道路の整備や身近な生活道路の整備促進
- 安全な市街地を形成する土地区画整理事業\*の促進
- 生活交通を支える路線バスの維持・確保対策

i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>

- 地元自治体や関係団体などと連携した身近な緑の創出・保全・活用
- 豊かな生態系を育む自然公園の保全
- 水源かん養機能\*を持続的に発揮できる森づくりの実施
- 三富地域の平地林の整備・保全・活用

## (7) 西部地域 (所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市)

### ① 地域の概要

県の西部に位置し、都心から30～60km圏にあります。西側の外秩父山地から、高麗・加治・狭山などの丘陵を経て、東端の武蔵野台地へと続く起伏に富んだ地形です。

江戸時代には所沢、狭山、入間が交通や物流の中継地となり、農産物や薪などが集積する地域として発展しました。日本農業遺産及び世界農業遺産の認定地域でもある三富地域では、短冊状の地割を特徴とする優良な農地が形成されました。飯能周辺から入間川などを利用して、西川材と呼ばれる優良な木材を江戸に運ぶいかだ流しも盛んに行われました。

所沢は明治44年(1911年)に日本初の飛行場が設置され、航空発祥の地となっています。全国的な知名度を誇る狭山茶といった特産品があるほか、平成28年(2016年)に建郡1300年を迎えた旧高麗郡に関連する高麗神社など、古い歴史を持つ名所や旧跡が残っています。

明治以降、鉄道が開通すると、鉄道沿線を中心に新たな市街地が形成されました。高度経済成長期には、大規模な住宅団地や工業団地が造成され、人口が急増するとともに電子部品や機械分野の製造業が集積しました。また、野球やサッカーのプロチームの本拠地のほか、日本最大級のポップカルチャー\*の発信拠点(ところざわサクラタウン)や北欧をイメージしたテーマパーク(メッツァ)もあります。

JR八高線・川越線・武蔵野線、西武池袋線・新宿線・秩父線などが東西南北に走り、関越道、圏央道、国道16号・299号・407号・463号による広域的な交通網が形成されています。

### ② 地域の現状と課題

この地域は、人口76万人(令和7年)、県人口の10.4%を占めると推計されており、20代は東京都に多く転出超過(令和7年)しています。また、全年齢では転入超過(令和7年)となっていることが特徴です。

合計特殊出生率(令和6年)は県内で中位の水準です。20代の転出超過数(令和7年)が多く、この世代を地域に呼び込むため、雇用の創出や就業の支援が必要です。

生産年齢人口の割合(令和7年)は県内で中位の水準です。

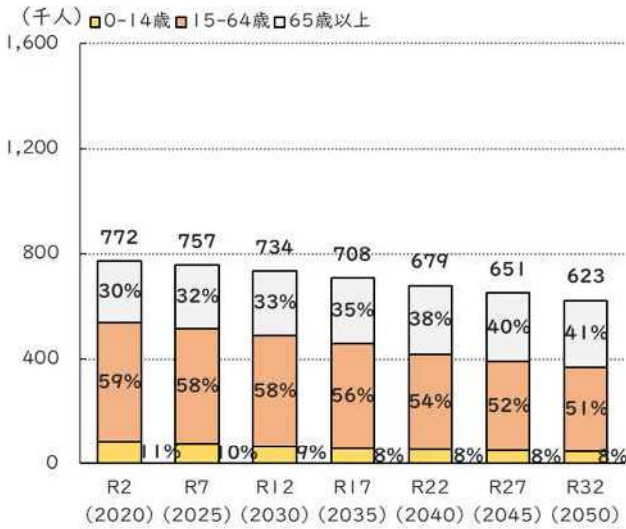
高齢化率(令和7年)は県平均よりも高く、令和32年(2050年)までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は7.6ポイント増加し約26%に達する見込みです。急速な高齢化に対応するため、高齢者向け住まいの整備や在宅医療連携拠点\*の機能強化など、高齢者を支える体制の充実が求められます。

博物館・美術館・図書館・アニメミュージアムが融合した日本最大級のポップカルチャーの発信拠点である大規模複合施設(ところざわサクラタウン)や、北欧のライフスタイルや

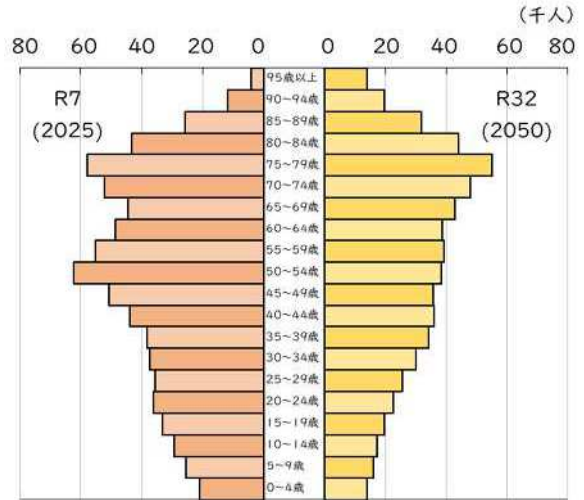
ムーミンの世界観を体感できる施設(メッツァ)などの魅力を活用し、この地域のみならず県全体を活性化していくことが期待されています。

近年では、令和6年に国道407号鶴ヶ島日高バイパスの整備が供用開始となるなど、交通利便性の向上を生かした更なる企業立地の促進が求められます。

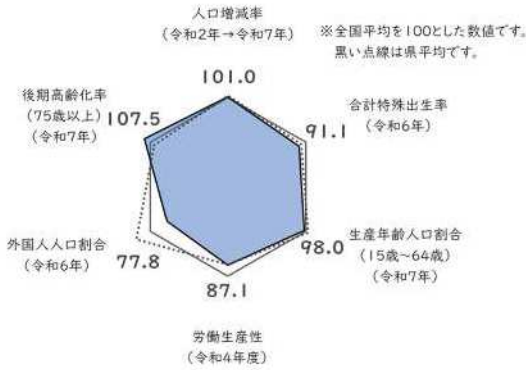
### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



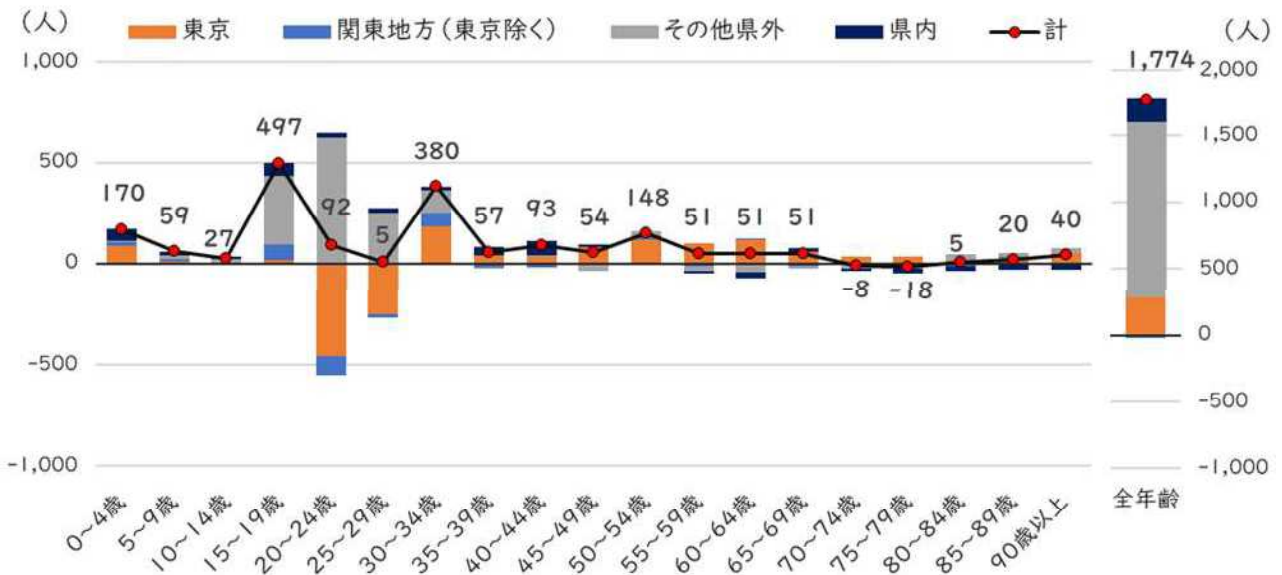
### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

西部地域	令和5年度 域内総生産 (億円)		県内総生産 (億円)		令和5年 (参考) 全国の総生産 割合 (%)
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)		
全体	27,052	100%	258,867	100%	100%
1次産業	74	0.3%	823	0.3%	0.9%
2次産業	8,386	31.0%	67,794	26.2%	26.1%
3次産業	18,320	67.7%	187,644	72.5%	72.9%

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性（西部地域）

山地や丘陵から武蔵野台地と続く起伏に富んだこの地域では、台風や地震、土砂災害などに備え、入間川などの河川改修や土砂災害のおそれがある区域における砂防関係施設の整備を行うとともに、国道16号などの道路啓開体制\*や災害時の避難体制の強化を進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、山崩れなどの復旧整備や新たな崩壊等のおそれがある山地への治山施設\*の整備を行います。さらに、流域下水道施設の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策や予防保全型のインフラマネジメントを行います。

地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに、高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し、暮らしの安全・安心を確保します。

高齢者の急増に備え、地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築するとともに、サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保など、高齢者が地域で安心して生活できる住環境の構築を進めます。

待機児童の解消に向けた保育所などの整備や放課後の安全・安心な居場所づくりを促進することで、子育てしやすい環境の充実を図ります。

孤独・孤立の予防や解消に向け関係機関との連携による取組を推進します。また、埼玉しごとサポート\*（所沢）において、高齢者を含めた全世代の求職者が社会で活躍できるよう支援を行います。

多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

各種スポーツイベントの開催、プロ・トップスポーツチーム（野球、ラグビー、サッカー、バレーボールなど）との連携など、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実を図ります。また、ポップカルチャー\*の発信拠点である大規模複合施設（ところざわサクラタウン）や北欧をイメージしたテーマパーク施設（メッツァ）など、多彩な地域の資源を活用した観光振興を行います。

ほうれんそうやさといも、お茶、くりなどの地域の特徴を生かした生産振興を更に進め、農業の収益性を高めます。森林資源の循環利用を進める「活樹\*」を推進し健全な森林を次代に引き継いでいくため、需要に応じた量・品質の県産木材を安定的に供給できる体制の整備などを進めます。

基幹となる道路や中山間地域\*の生活を支える身近な道路のバイパス整備、現道拡幅を行います。バス路線の維持や地域公共交通の活性化に向けた支援により、県民の日常を支える生活交通を確保します。また、東京12号線（大江戸線）延伸に向けた検討を進めるとともに、多摩都市モノレールの延伸、既設線延伸以外の新たな交通システム導入の検討を進めます。米軍基地跡地について、地域の意向に沿った利用がなされるよう支援します。

自然と調和した緑豊かな住環境の実現に向けて、多様な主体と連携した身近な緑の創出・保全・活用や、豊かな生態系を育む自然公園の保全、自然ふれあい施設（狭山丘陵いきものふれあいの里センター、さいたま緑の森博物館）の活用を行います。また、地元自治

体や民間事業者などと連携した水辺空間の活用を行います。さらに、広葉樹植栽等による針広混交林\*の造成などにより、水源かん養機能\*を持続的に発揮できる森づくりを行います。このほか、伝統的な落ち葉堆肥農法等を次代に引き継ぐ取組を支援します。

#### ④ 主な施設・交通網と基盤整備の状況

##### 西部地域



凡 例	
	自動車専用道路 (●, ●:JCT又はIC)
	国道
	鉄道 (○:駅)
	交通政策審議会答申路線
	交通政策審議会未答申路線
	工業団地
	主な取組に記載された主要施設
	土地区画整理事業施行中地区
	(県)公園・スポーツ施設等
	(県)産業支援・研究施設

## ⑤ 主な取組(西部地域)

### (ア) 安全で安心な社会

#### a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>

○大地震に備えた、国道16号などの道路啓開体制\*の強化

○集中豪雨及び局地的大雨対策の実施

○入間川などの河川改修

○治山施設\*・保安林\*の整備

○土砂災害警戒区域における警戒避難体制の強化

○流域下水道施設の適切な維持管理

#### b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>

○地域との連携による防犯活動の実施

○子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施

#### c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>

○急速な高齢化に対応した地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援

○高齢者の急増に備えた在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援

○サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

#### d 子どもまんなか社会\*を実現する<子ども・教育分野>

○結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進

○保育所、認定子ども園\*の整備などの促進

○放課後児童クラブ\*の充実

○日本語指導が必要な児童生徒への教育支援

○体験活動の推進(名栗げんきプラザ)

#### e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>

○孤独・孤立対策の推進

○埼玉しごとサポート\*(所沢)における就業支援

#### f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>

○多言語による情報提供や相談体制の確保

○子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実

○ポップカルチャー\*の発信拠点である大規模複合施設(ところざわサクラタウン)や北  
欧をイメージしたテーマパーク施設(メッツァ)などの地域資源を活用した観光振興や、  
多彩なツーリズムの促進支援

○農山村体験などによる都市住民との交流の拡大

(ウ) 持続的に成長・発展する社会

g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>

○ほうれんそうやさといもなどの野菜、お茶やくりなど地域の特徴を生かした生産振興  
の支援

○優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約  
化の促進

○県産木材の安定的な供給体制の整備

h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>

○幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化

○企業立地などを促進する幹線道路の整備

○中山間地域\*の生活を支える道路の整備や身近な生活道路の整備促進

○安全な市街地を形成する土地区画整理事業\*の促進

○米軍基地跡地の有効利用

○生活交通を支える路線バスの維持・確保対策

○あと数マイル・プロジェクト\*の推進(東京12号線(大江戸線)、多摩都市モノレール)

i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>

○地元自治体や関係団体などと連携した身近な緑の創出・保全・活用

○地元自治体や民間事業者などと連携した水辺空間の利活用の促進

○豊かな生態系を育む自然公園の保全や自然ふれあい施設(狭山丘陵いきものふれ  
あいの里、さいたま緑の森博物館)の活用

○水源かん養機能\*を持続的に発揮できる森づくりの実施

○三富<sup>さんどめ</sup>地域の平地林の整備・保全・活用

## (8) 利根地域

(行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町)

### ① 地域の概要

関東平野のほぼ中央に当たる県の北東部、都心から40～60km圏に位置しています。地域の大半は勾配が極めて緩やかな加須低地や中川低地であり、大落古利根川、中川などの河川や葛西用水などの農業用水路が広大な水路網を形成しています。

埼玉古墳群が所在するなど県名発祥の地といわれ、古くからの歴史を持つ地域です。江戸時代には、治水と新田開発を進めるため利根川の東遷が行われ、度重なる水路の開削などにより今日の河川や水路網の原形が形成されました。利根川からの豊かな水や平坦な地形、肥沃な土壌を生かした稲作が盛んな県内有数の穀倉地帯でもあります。

忍城の城下町として栄えた行田のほか、杉戸、幸手は日光街道の宿場町、久喜は主要街道を結ぶ物流の拠点として、羽生や加須は利根川の水運の要衝、蓮田は見沼通船の拠点としてそれぞれ栄えました。県内初の日本遺産に認定された「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」のほか、令和初の国指定特別史跡である埼玉古墳群など、国内外に誇る地域資源を有しています。

昭和40年代以降は、東北道の開通や宅地、大規模工業団地の造成に伴い、人口の増加や数多くの企業の立地が進みました。

JR高崎線・東北線、東武伊勢崎線・日光線、秩父鉄道からなる鉄道網、東北道、圏央道、国道4号・122号・125号などからなる広域的な道路網が形成されています。

### ② 地域の現状と課題

この地域は、人口62万人(令和7年)、県人口の8.5%を占めると推計されており、20代は東京都に対して大きく転出超過(令和7年)となっています。また、全年齢では転入超過(令和7年)となっていることが特徴です。

低地に市街地が広がっているため、台風などに対する防災・治水対策を強化することが求められます。

合計特殊出生率(令和6年)は県内で中位の水準です。20代の転出超過数(令和7年)が多く、この世代を地域に呼び込むため、雇用の創出や就業の支援が必要です。

生産年齢人口の割合(令和7年)は県内でも低い水準です。

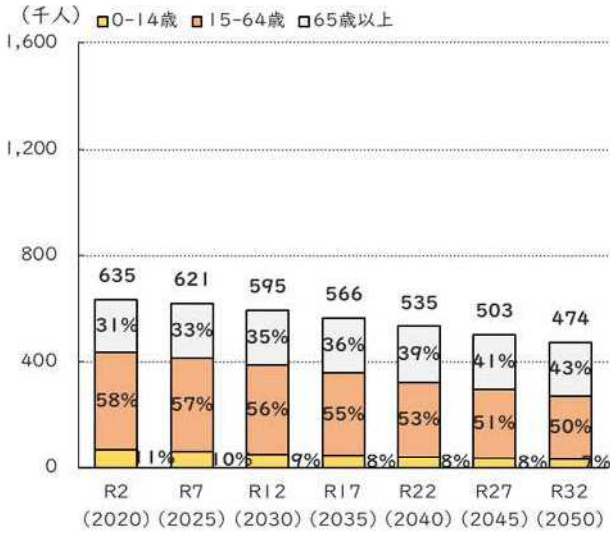
高齢化率(令和7年)は秩父地域に次いで高く、また、令和32年(2050年)までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は7.6ポイント増加し約27%に達する見込みです。急速な高齢化に対応するため、高齢者を支える体制の充実が求められます。

史跡・アニメの舞台・足袋や藍染などの伝統産業といった多彩な地域資源を活用した魅力的な地域づくりを更に進めることが求められています。

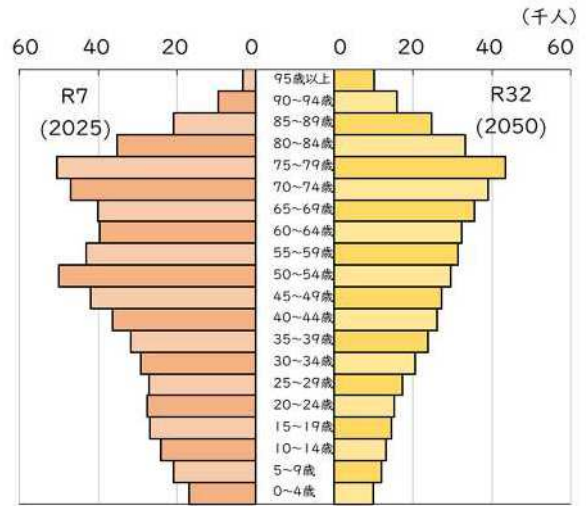
圏央道と東北道の結節やJR上野東京ラインの開業、加須市から群馬県に続く国道354号バイパスや、国道125号バイパスの開通など交通の利便性が向上しています。

若者や子育て世代の転入・定着促進を図るため、こうした交通利便性の高さを生かした企業立地の促進などにより、地域経済の活力を高めていく必要があります。

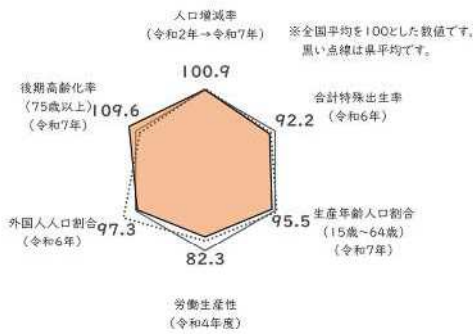
### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



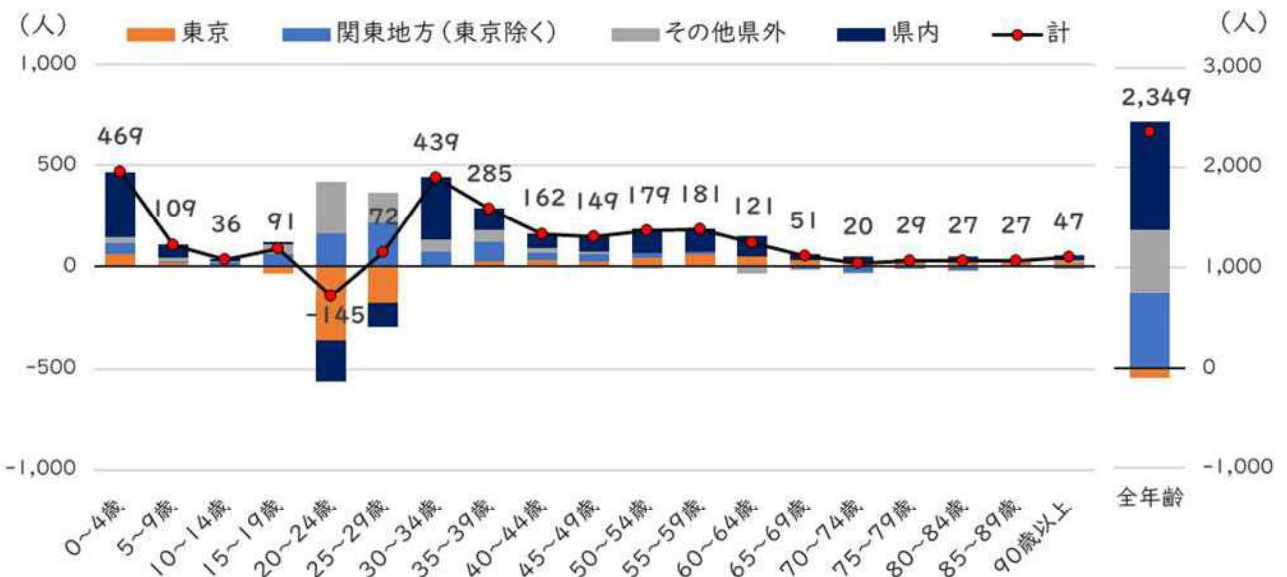
### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

利根地域	令和5年度		令和5年		令和5年 (参考) 全国の総生産 割合 (%)
	域内総生産 (億円)	割合 (%)	全県におけるシェア (%)	県内総生産 (億円)	
全体	23,443	100%	9.1%	258,867	100%
1次産業	134	0.6%	16.2%	823	0.3%
2次産業	8,198	35.0%	12.1%	67,794	26.2%
3次産業	14,875	63.5%	7.9%	187,644	72.5%

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性(利根地域)

勾配が緩やかな低地や河川、用水路が広がるこの地域では、台風や地震などの災害に備え、中川などの河川改修を行うとともに、国道122号及び125号などの道路啓開体制\*の強化を進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、流域下水道施設の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策や予防保全型のインフラマネジメントを行います。

地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに、交通事故による人身被害の発生状況を踏まえ、高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し、暮らしの安全・安心を確保します。

高齢者の急増に備え、地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築するとともに、サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保など、高齢者が地域で安心して生活できる住環境の構築を進めます。

待機児童の解消に向けた保育所などの整備を促進することで、子育てしやすい環境の充実に図ります。

孤独・孤立の予防や解消に向け関係機関との連携による取組を推進します。また、埼玉しごとサポート\*(加須)において、高齢者を含めた全世代の求職者が社会で活躍できるよう支援を行います。

多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

各種スポーツイベントの開催、プロ・トップスポーツチーム(バスケットボール3×3など)との連携など、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実に図ります。また、国指定特別史跡に指定された埼玉古墳群や忍城などの歴史資源、行田の足袋や羽生の藍染などの伝統産業、アニメ「らき☆すた」の舞台である鷲宮神社、桜の名所である権現堂の桜堤といった観光資源など、多彩な地域の資源を生かした地域振興を行います。

地域の目指す営農を実現するために効果的な整備手法により基盤整備を加速させます。また、日本なしやいちじく、きゅうり、トマト、米など地域の特徴を生かした生産振興を更に進め、農業の収益性を高めます。

経済活動を支える基盤となる道路網の充実に向け、観光地へのアクセス性を高める道路を整備するとともに、スマートインターチェンジ\*(蓮田)のフル化などによるアクセス改善や企業立地などを促進する幹線道路を整備します。

地域鉄道の輸送の安全性向上を図ることにより、県民の日常を支える生活交通を確保します。また、埼玉高速鉄道(地下鉄7号線)延伸に向けた検討を進めます。

自然と調和した緑豊かな住環境の実現に向けて、多様な主体と連携した身近な緑の創出・保全・活用を行います。また、地元自治体や民間事業者などと連携した水辺空間の活用を行います。



## ⑤ 主な取組(利根地域)

### (ア) 安全で安心な社会

#### a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>

- 大地震に備えた、国道122号や125号などの道路啓開体制\*の強化
- 集中豪雨及び局地的大雨対策の実施
- 中川などの河川改修
- 流域下水道施設の適切な維持管理

#### b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>

- 地域との連携による防犯活動の実施
- 子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施

#### c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>

- 急速な高齢化に対応した地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援
- 高齢者の急増に備えた在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援
- サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保
- 医師不足地域における医師確保の推進

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

#### d 子どもまんなか社会\*を実現する<子ども・教育分野>

- 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進
- 保育所、認定子ども園\*の整備などの促進
- 多く在籍している日本語指導が必要な児童生徒への教育支援

#### e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>

- 孤独・孤立対策の推進
- 埼玉しごとサポート\*(加須)における就業支援

#### f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>

- 多言語による情報提供や相談体制の確保
- 文化財の保存、活用、情報発信など文化資源を生かした地域振興(さきたま史跡の博物館)
- 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実
- 埼玉古墳群など地域資源を活用した観光振興や、多彩なツーリズムの促進支援

### (ウ) 持続的に成長・発展する社会

g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>

○低コストなほ場整備\*など効率的な生産を実現する基盤整備

○優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約化の促進

○日本なしやいちじくなどの果樹、きゅうりやトマトなどの野菜、米など地域の特徴を生かした生産振興の支援

h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>

○幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化

○企業立地などを促進する幹線道路の整備

○スマートインターチェンジ\*(蓮田)のフル化に対する支援

○安全な市街地を形成する土地区画整理事業\*の促進

○地域鉄道の安全性向上を目指す設備整備への支援

○あと数マイル・プロジェクト\*の推進(埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線))

i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>

○地元自治体や関係団体などと連携した身近な緑の創出・保全・活用

○地元自治体や民間事業者などと連携した水辺空間の利活用の促進

## (9) 北部地域

(熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町)

### ① 地域の概要

県の北西部に位置し、都心から50～80km圏にあります。西端の山地から丘陵地帯、中央に広がる台地を経て、東端の妻沼低地へと続く起伏に富んだ地形であり、利根川、荒川、小山川などの豊かな水と肥沃な土壤に恵まれた地域です。

中山道の宿場町であった熊谷、深谷、本庄、秩父往還沿いの寄居などは多くの人が行き交い、商業を中心に発展しました。「近代日本経済の父」と呼ばれ、新一万円札の肖像となった深谷の渋沢栄一をはじめ、本庄の塙保己一、熊谷の荻野吟子など著名な偉人を輩出した地域でもあります。

県内有数の農業地帯であり、全国トップクラスの生産量を誇る野菜をはじめ、花き、果実、畜産物など様々な農産物の生産が行われています。さらに熊谷、寄居は、令和5年に日本農業遺産に認定された「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」を有しています。

明治以降、鉄道が開通すると、交通の要衝としての重要性が更に高まりました。昭和30年代以降、深谷市、熊谷市、本庄市などに大規模な工業団地が相次いで造成され、関越道にもアクセスしやすいことから企業立地が進み、特に食料品製造業などの集積が進んでいます。また、令和4年に関越道花園インターチェンジの近接地に、ふかや花園プレミアム・アウトレットが開業しました。ラグビーワールドカップ2019が開催された熊谷ラグビー場は、「西の花園、東の熊谷」と称されるラグビーの聖地です。

上越・北陸新幹線のほか、JR高崎線・八高線、東武東上線、秩父鉄道からなる鉄道網、関越道、国道17号・125号・140号・254号・407号・462号からなる広域的な道路網を形成しています。

### ② 地域の現状と課題

この地域は、人口49万人（令和7年）、県人口の6.7%を占めると推計されており、20代は大きく転出超過（令和7年）となっている一方で、高齢者世代で転入超過（令和7年）となっていることが特徴です。

合計特殊出生率（令和6年）は県内で中位の水準です。20代の転出超過数（令和7年）が多く、この世代を地域に呼び込むため、雇用の創出や就業の支援が必要です。

生産年齢人口の割合（令和7年）は県内でも低い水準です。

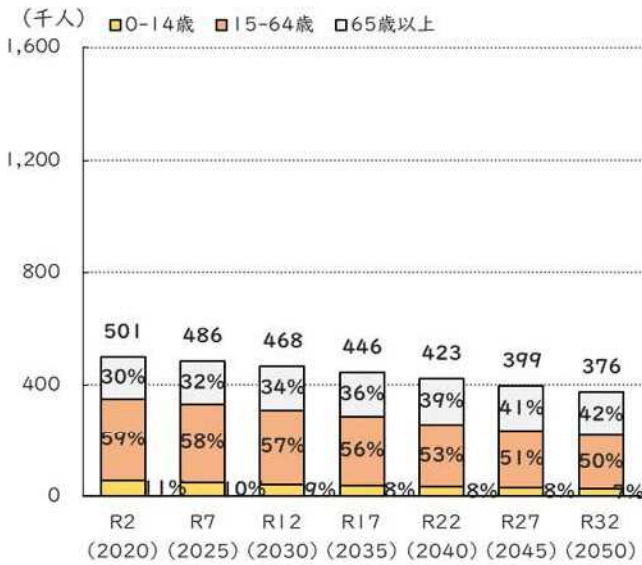
高齢化率（令和7年）は県平均よりも高く、令和32年（2050年）までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は8.8ポイント増加し約27%に達する見込みです。急速な高齢化に対応するため、高齢者を支える体制の充実が求められます。

史跡などの文化財や個性豊かな祭りなど多彩な地域資源を有しており、歴史が形作ってきたこのような地域の特色に加え、ラグビーワールドカップ2019のレガシー\*や渋沢栄一関連施設などの資源を生かし、地域を活性化していくことが期待されています。

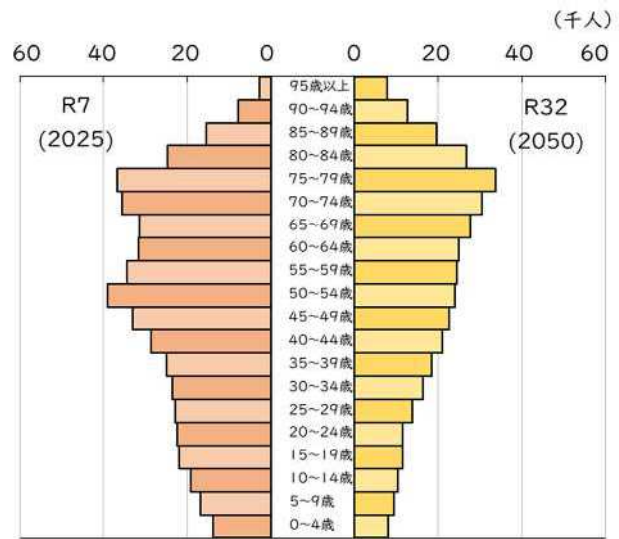
豊かな自然環境を生かしながら競争力のある農産物の産地形成を図るとともに、関越道に設置されたスマートインターチェンジ\*や秩父鉄道の新駅など、この地域が有する交通インフラを武器に、企業の立地を促進していくことが求められます。

農林業などの地域産業の魅力発信やテレワーク\*などの柔軟な働き方\*を普及させることで、地域外からの転入などを促していくことが必要です。

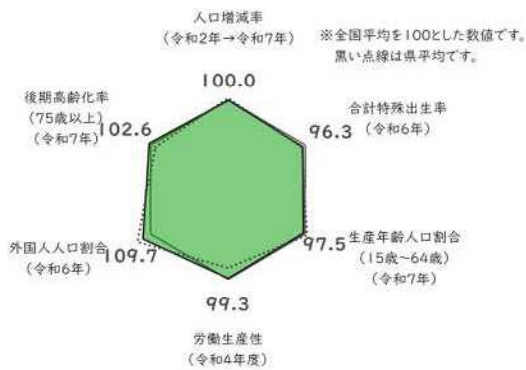
### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



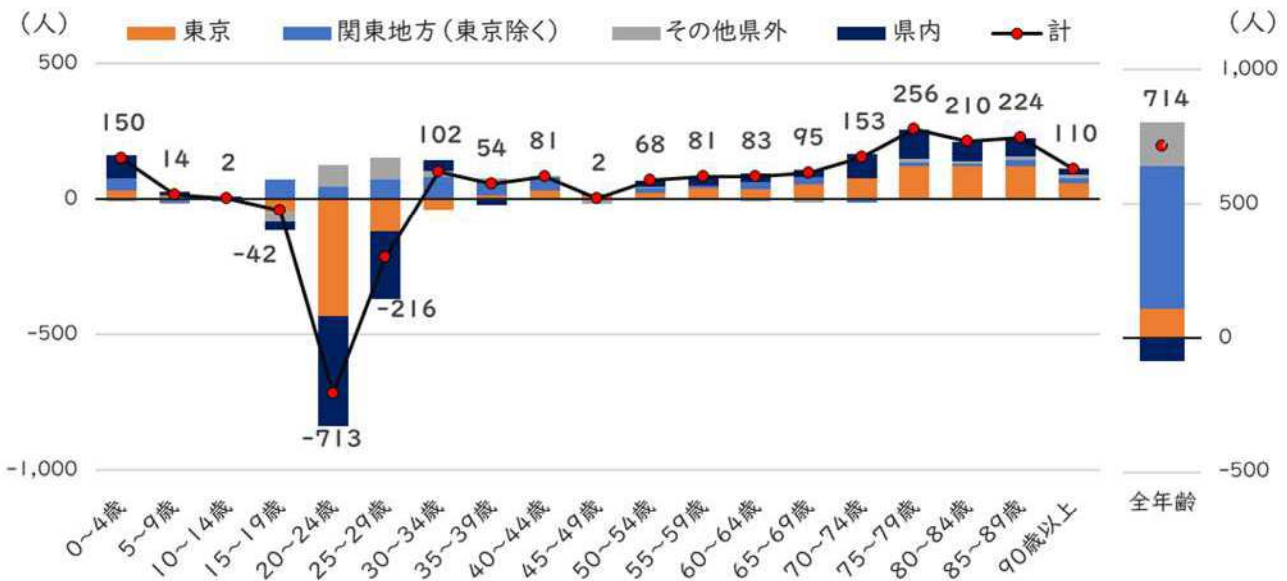
### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

北部地域	令和5年度		令和5年	
	域内総生産 (億円)	割合 (%)	全県におけるシェア (%)	県内総生産 (億円)
全体	25,071	100%	9.7%	258,867
1次産業	317	1.3%	38.5%	823
2次産業	10,869	43.4%	16.0%	67,794
3次産業	13,633	54.4%	7.3%	187,644

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性(北部地域)

山地から丘陵地帯や台地が広がるこの地域では、台風や地震、土砂災害などに備え、女堀川などの河川改修や土砂災害のおそれがある区域における砂防関係施設の整備を行うとともに、国道17号及び140号などの道路啓開体制\*や災害時の避難体制の強化を進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、山崩れなどの復旧整備や新たな崩壊等のおそれがある山地への治山施設\*の整備を行います。さらに、流域下水道施設の全国特別重点調査の結果を踏まえた対策や予防保全型のインフラマネジメントを行います。

地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに、交通事故による人身被害の発生状況を踏まえ、高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し、暮らしの安全・安心を確保します。

高齢者の急増に備え、地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築するとともに、サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保など、高齢者が地域で安心して生活できる住環境の構築を進めます。

孤独・孤立の予防や解消に向け関係機関との連携による取組を推進します。発達障害者就労支援センター(ジョブセンター熊谷)で就労を希望する発達障害\*者への支援を行います。また、埼玉しごとサポート\*(深谷)において、高齢者を含めた全世代の求職者が社会で活躍できるよう支援を行います。埼玉未来大学\*において、高齢者が社会で活躍できるよう支援を行います。

多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

国内トップチーム(ラグビー)の本拠地でもある熊谷の地を生かし、熊谷スポーツ文化公園の利活用を促進するほか、プロ・トップスポーツチーム(ラグビー、野球など)との連携など、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実を図ります。また、日本三大聖天の一つである妻沼聖天山、三偉人ゆかりの地や史跡・文化財、個性豊かな祭りなど、多彩な地域の資源を活用した観光振興を行います。

大学、研究機関との連携により、イノベーション\*の創出などに取り組む製造業への支援を通じて地域の稼げる力を向上します。

北部地域振興交流拠点を整備し、地域における産業集積、地域資源などの魅力や強みを生かした交流の場、にぎわいの場を創出し、地域の活力向上を目指すとともに、県民にとって便利で職員にとって働きやすい未来の県庁の先行モデルを実現します。

食のトライアル拠点である産業技術総合センター北部研究所における企業の技術的な相談への対応により県内企業のサーキュラーエコノミー\*への取組を推進します。

地域の目指す営農を実現するために効果的な整備手法により基盤整備を加速させます。また、ねぎ、小麦、ブロッコリー、和牛など地域の特徴を生かした生産振興を更に進め、農業の収益性を高めます。森林資源の循環利用を進める「活樹\*」を推進し健全な森林を次代に引き継いでいくため、需要に応じた量・品質の県産木材を安定的に供給できる体制の整備などを進めます。

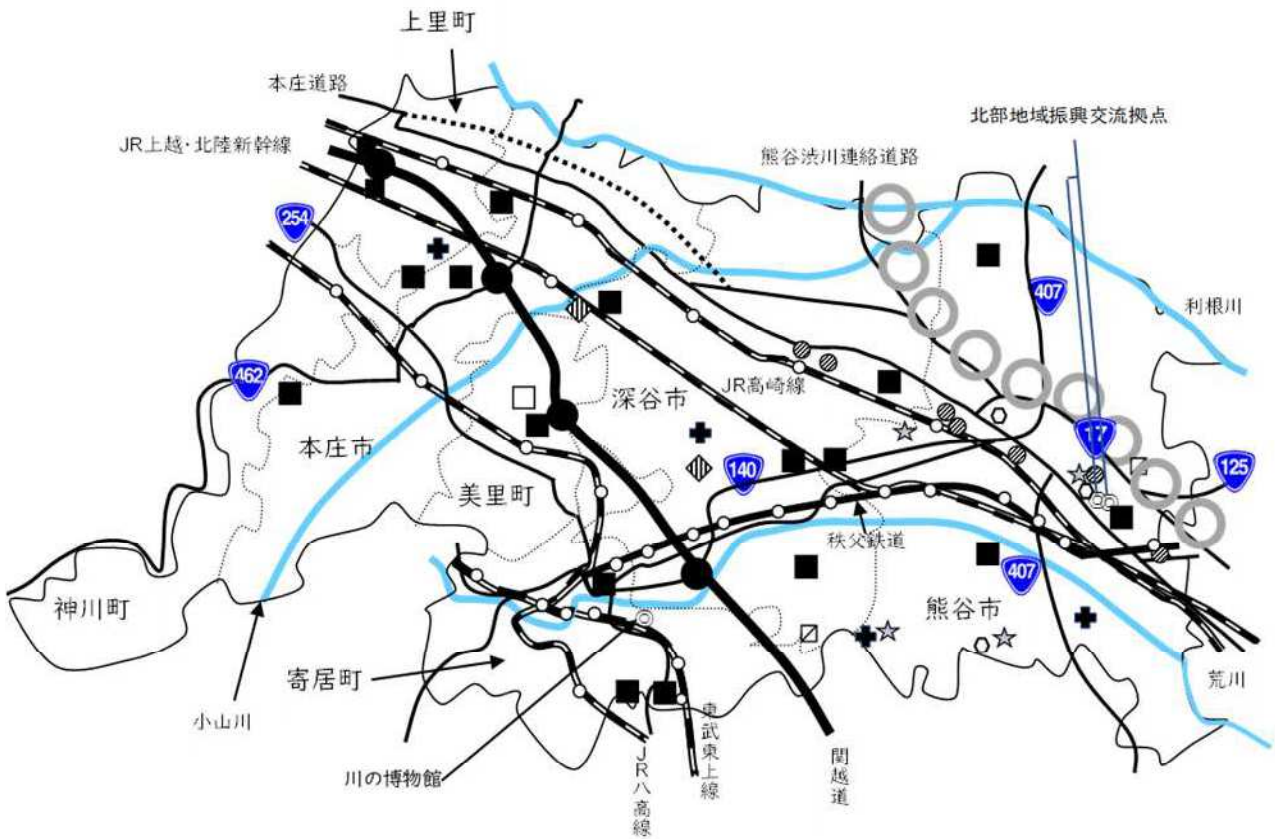
観光地へのアクセス性を高める道路を整備するとともに、本庄道路の整備などによるアクセス改善や基幹となる道路、中山間地域\*の生活を支える身近な道路におけるバイパス整備、現道拡幅、企業立地などを促進する幹線道路を整備します。

バス路線の維持や地域公共交通の活性化に向けた支援、地域鉄道の輸送の安全性向上を図ることにより、県民の日常を支える生活交通を確保します。

自然と調和した緑豊かな住環境の実現に向けて、多様な主体と連携した身近な緑の創出・保全・活用や、豊かな生態系を育む自然公園の保全を行います。また、広葉樹植栽等による針広混交林\*の造成などにより、水源かん養機能\*を持続的に発揮できる森づくりを行います。

#### ④ 主な施設・交通網と基盤整備の状況

##### 北部地域



凡 例	
	自動車専用道路 (●, ●:JCT又はIC)
	国道
	国道 (事業区間)
	検討中の道路
	鉄道 (○:駅)
	工業団地 (産業団地含む)
	工業団地 (計画・造成中、産業団地含む)
	主な取組に記載された主要施設
	土地区画整理事業施行中地区
	ほ場整備事業施行地区
	(県) 図書館、専門校、多目的ホール等
	(県) 公園・スポーツ施設等
	(県) 医療施設・福祉施設
	(県) 産業支援・研究施設

## ⑤ 主な取組(北部地域)

### (ア) 安全で安心な社会

#### a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>

- 大地震に備えた、国道17号や140号などの道路啓開体制\*の強化
- 女堀川などの河川改修
- 治山施設\*・保安林\*の整備
- 土砂災害警戒区域における警戒避難体制の強化
- 流域下水道施設の適切な維持管理

#### b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>

- 地域との連携による防犯活動の実施
- 子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施

#### c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>

- 急速な高齢化に対応した地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援
- 高齢者の急増に備えた在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援
- サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保
- 医師不足地域における医師確保の推進

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

#### d 子どもまんなか社会\*を実現する<子ども・教育分野>

- 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進
- 多く在籍している日本語指導が必要な児童生徒への教育支援

#### e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>

- 孤独・孤立対策の推進
- 発達障害者就労支援センター(ジョブセンター熊谷)による就労支援
- 埼玉しごとサポート\*(深谷)における就業支援
- 埼玉未来大学\*による高齢者の社会参加の支援

#### f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>

- 多言語による情報提供や相談体制の確保
- 文化財の保存、活用、情報発信など文化資源を生かした地域振興(川の博物館)
- 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実

○偉人や史跡・文化財、個性豊かな祭りなどの地域資源を活用した観光振興や、多彩なツーリズムの促進支援

○農山村体験などによる都市住民との交流の拡大

(ウ) 持続的に成長・発展する社会

g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>

○県北地域などへの企業誘致の推進

○県内企業のサーキュラーエコノミー\*型ビジネスへの転換支援

○産学官連携の推進や知的財産の活用\*支援

○北部地域振興交流拠点の整備

○低コストなほ場整備\*など効率的な生産を実現する基盤整備

○優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約化の促進

○ねぎ、小麦、ブロッコリー、和牛など地域の特徴を生かした生産振興の支援

○県産木材の安定的な供給体制の整備

h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>

○幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化

○企業立地などを促進する幹線道路の整備

○中山間地域\*の生活を支える道路の整備や身近な生活道路の整備促進

○安全な市街地を形成する土地区画整理事業\*の促進

○地域鉄道の安全性向上を目指す設備整備への支援

○生活交通を支える路線バスの維持・確保対策

i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>

○地元自治体や関係団体などと連携した身近な緑の創出・保全・活用

○豊かな生態系を育む自然公園の保全

○水源かん養機能\*を持続的に発揮できる森づくりの実施

## (10) 秩父地域

(秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町)

### ① 地域の概要

県の北西部、都心から70～100km圏に位置しています。甲武信ヶ岳、両神山などの標高2,000m前後の山々に囲まれた中央に秩父盆地が位置しています。地域の8割を森林が占めるなど緑豊かな自然環境が残り、長瀬に代表される優れた景観にも恵まれています。

我が国最古の流通貨幣といわれる「和同開珎」ゆかりの地として知られるなど、古い歴史を持っています。江戸時代以降、養蚕や絹織物の生産が盛んに行われ、物資の集散地として発展し、独自の習慣や風俗が形成されました。

明治以降、交通網の整備に伴い地域内外との交流も活発になり、セメント産業をはじめ、繊維産業、林業などが盛んになりました。近年は産業構造の変化に伴い、金属製品、自動車関連産業のウェイトが高まっています。

中山間地域\*の特性を生かした、そば、こんにゃく、きのこなどの農林産物の生産、観光と連携した果樹園などの観光農林業に加え、札所巡り、秩父夜祭のほか秩父ミュージックパークやアニメゆかりの観光スポット、芝桜など、多様な観光資源を有しています。

鉄道は西武秩父線、秩父鉄道が走り、通勤・通学の主要な交通手段となっています。道路は国道140号・299号が重要な広域幹線道路となっています。また、関越道の花園インターチェンジと山梨県を結ぶ西関東連絡道路の大滝トンネルの整備により、走行時間の短縮や観光地へのアクセス改善など、利便性が高く、災害に強い道路網の構築が期待されます。

### ② 地域の現状と課題

この地域は、人口9万人(令和7年)、県人口の1.2%を占めると推計されており、10代、20代が大きく転出超過(令和7年)となっていることが特徴です。

合計特殊出生率(令和6年)は県内で最も低くなっています。20代を中心に幅広い年齢層で転出超過(令和7年)となっており、雇用の創出や就業の支援に加え、転入などに向けた支援が必要です。

生産年齢人口の割合(令和7年)は県内で最も低くなっています。

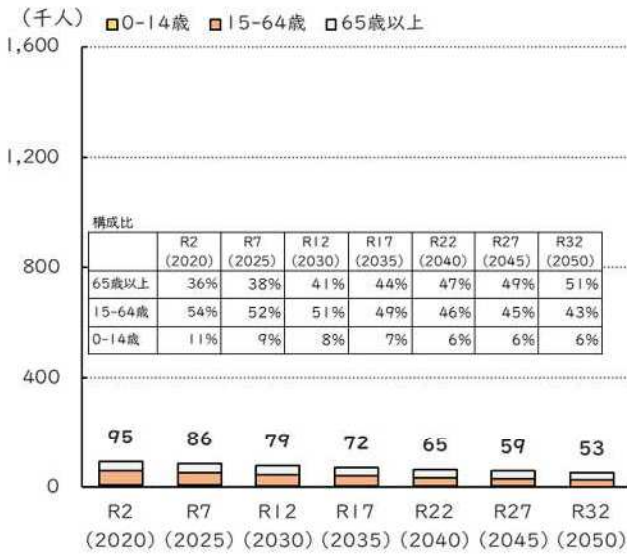
高齢化率(令和7年)は県内で最も高く、令和32年(2050年)までの間に、地域人口に占める75歳以上の後期高齢者の割合は11.8ポイントと県内で最も急速に増加し約34%に達する見込みです。急速な高齢化に対応するため、高齢者を支える体制の充実が求められます。

秩父夜祭は、京都祇園祭、飛騨高山祭と並んで日本三大曳山祭としても知られ、「秩父祭の屋台行事と神楽」を含む「山・鉦・屋台行事」37件がユネスコ無形文化遺産に登録されているほか、令和7年に全国植樹祭が開催された秩父ミュージックパークなど多くの観光資

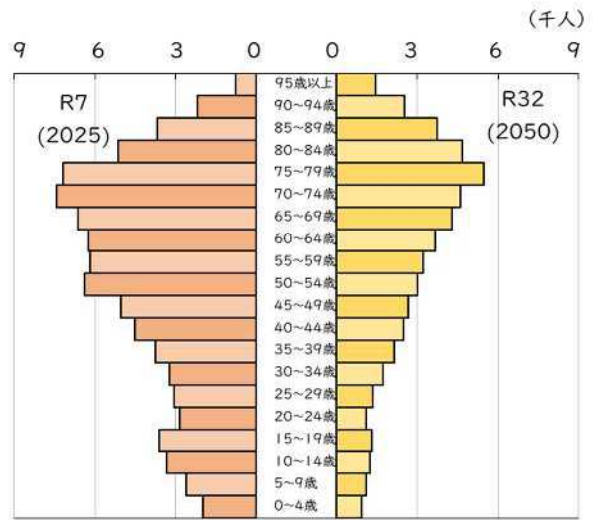
源を有しています。こうした魅力的な地域資源を生かして観光客を拡大することで、地域を活性化していくことが期待されています。

テレワーク\*などの柔軟な働き方\*を普及させることで、地域住民との多様な関わりを持つ関係人口\*の創出を促していくことも必要です。

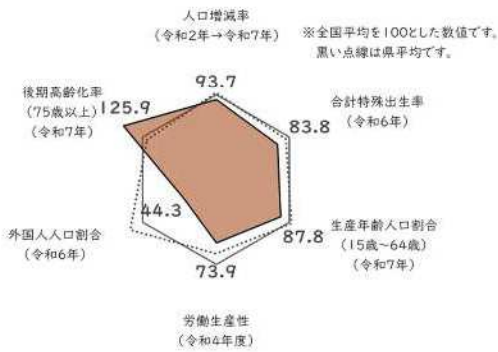
### ○将来人口の見通し



### ○人口ピラミッド



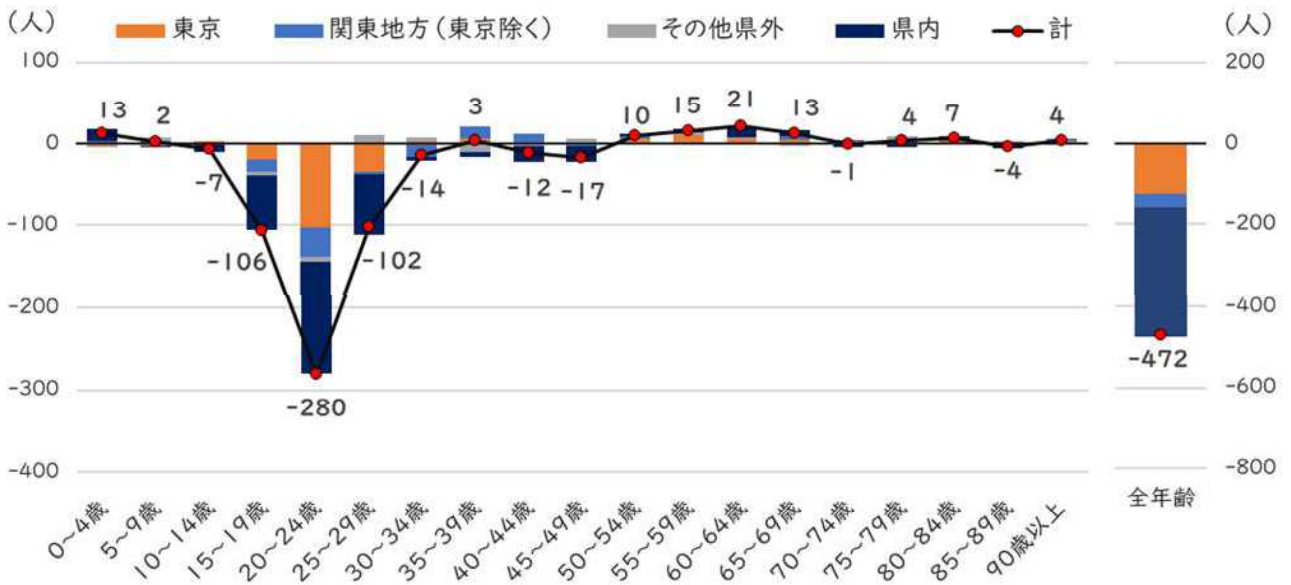
### ○人口関係データ



### ○経済関係データ

秩父地域	令和5年度 域内総生産 (億円)		全県における シェア (%)	県内総生産 (億円)		令和5年 (参考) 全国の総生産 割合 (%)
		割合 (%)			割合 (%)	
全体	3,370	100%	1.3%	258,867	100%	100%
1次産業	18	0.5%	2.2%	823	0.3%	0.9%
2次産業	1,033	30.7%	1.5%	67,794	26.2%	26.1%
3次産業	2,284	67.8%	1.2%	187,644	72.5%	72.9%

### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)



### ③ 地域づくりの方向性(秩父地域)

山地が広がり豊かな自然環境が残るこの地域では、台風や地震、土砂災害などに備え、横瀬川などの河川改修や土砂災害のおそれがある区域における砂防関係施設の整備を行うとともに、国道140号などの道路啓開体制\*や災害時の避難体制の強化を進め、地域のレジリエンス\*を高めます。また、山崩れなどの復旧整備や新たな崩壊等のおそれがある山地への治山施設\*の整備を行います。

地域の自主防犯活動団体などと連携し、地域の防犯意識を高め、効果的な防犯活動を実施するとともに高齢者をはじめあらゆる年齢層の特性に応じた交通安全対策を実施し暮らしの安全・安心を確保します。

高齢者の急増に備え、地域の医療機関や介護事業所との連携を支援し、高齢者が在宅で療養できる地域の体制を構築するとともに、サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保など、高齢者が地域で安心して生活できる住環境の構築を進めます。

秩父地域の輪番病院に対する支援体制を強化するため、相談体制の構築、若手医師向けの小児救急研修の実施、高度急性期医療が必要となった患者が円滑に転院できる体制の構築を実施します。また、需要が増加する介護サービスの担い手を確保するため、高等技術専門校\*による介護人材の育成を行います。秩父地域における産婦人科医や助産師等の派遣事業を支援することで、地域における産科医療の維持を図ります。

孤独・孤立の予防や解消に向け関係機関との連携による取組を推進します。また、埼玉しごとサポート\*(秩父)において、高齢者を含めた全世代の求職者が社会で活躍できるよう支援を行います。

多言語による相談・情報提供の体制を整備し、外国人住民を含む全ての県民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

各種スポーツイベントの開催など、こどもから高齢者までスポーツに親しめる機会の充実を図ります。また、ユネスコ無形文化遺産の秩父夜祭、小鹿野歌舞伎などの伝統芸能及び農林産物などの多彩な地域資源、長瀬の川下りや芝桜などの観光資源を活かし、魅力あるまちづくりを進めます。

地域の特性を生かした企業誘致を積極的に進め、雇用促進等を図り、地域を活性化します。また、ぶどうやいちご、きのこなど地域の特徴を生かした生産振興を更に進め、農業の収益性を高めます。森林資源の循環利用を進める「活樹\*」を推進し健全な森林を次代に引き継いでいくため、需要に応じた量・品質の県産木材を安定的に供給できる体制の整備などを進めます。

観光地へのアクセス性を高める道路を整備するとともに、西関東連絡道路の整備などによるアクセス改善、中山間地域\*の生活を支える身近な道路のバイパス整備や現道拡幅を進めます。バス路線の維持や地域公共交通の活性化に向けた支援、地域鉄道の輸送の安全性向上を図ることにより、県民の日常を支える生活交通を確保します。

自然と調和した緑豊かな住環境の実現に向けて、地元自治体や民間事業者などと連携した水辺空間の活用を行います。また、広葉樹植栽等による針広混交林\*の造成などにより、水源かん養機能\*を持続的に発揮できる森づくりを行います。

④ 主な施設・交通網と基盤整備の状況

秩父地域



凡 例	
—————	国道
.....	国道(事業区間)
○ ○ ○	検討中の道路
—●—	鉄道(○:駅)
■	工業団地
◎	主な取組に記載された主要施設
★	(県)図書館、専門校、多目的ホール等
□	(県)公園・スポーツ施設等

## ⑤ 主な取組(秩父地域)

### (ア) 安全で安心な社会

#### a 災害や危機に強い体制を構築する<災害・危機分野>

- 大地震に備えた、国道140号などの道路啓開体制\*の強化
- 横瀬川などの河川改修
- 治山施設\*・保安林\*の整備
- 土砂災害警戒区域における警戒避難体制の強化

#### b 暮らしの安全・安心を確保する<生活安全分野>

- 地域との連携による防犯活動の実施
- 子どもや高齢者など各年齢層に応じた交通安全対策の実施

#### c 健康で安心して生活できる社会をつくる<健康・介護・医療分野>

- 急速な高齢化に対応した地域包括ケアシステム\*の深化に向けた支援
- 高齢者の急増に備えた在宅医療連携拠点\*の機能強化と、医療と介護の連携体制の構築支援
- サービス付き高齢者向け住宅\*の適正な運営の確保
- 職業訓練による介護人材の育成
- 輪番病院の医師に対する相談体制の構築等医療提供体制の整備
- 医師不足地域における医師確保の推進

### (イ) 誰もが輝き、活力ある社会

#### d 子どもまんなか社会\*を実現する<子ども・教育分野>

- 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚に伴う新生活の支援及び地元市町村との連携体制の推進
- 産婦人科医確保の推進
- 日本語指導が必要な児童生徒への教育支援
- 体験活動の推進(大滝げんきプラザ・長瀬げんきプラザ)

#### e 誰もが自分らしく生き、活躍する社会をつくる<共生社会・人材活躍分野>

- 孤独・孤立対策の推進
- 埼玉しごとサポート\*(秩父)における就業支援

#### f 暮らしやすく魅力あふれる地域社会をつくる<地域づくり分野>

- 多言語による情報提供や相談体制の確保
- 文化財の保存、活用、情報発信など文化資源を生かした地域振興(自然の博物館)
- 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の充実

○長瀬の川下りや観光農園など地域資源を活用した観光振興や、多彩なツーリズムの促進支援

○農山村体験などによる都市住民との交流の拡大

(ウ) 持続的に成長・発展する社会

g 持続的で生産性の高い地域経済を実現する<産業・農林水産業分野>

○県北地域などへの企業誘致の推進

○ぶどうやいちご、きのこなど地域の特徴を生かした生産振興の支援

○優良農地の確保と農地中間管理事業\*の活用などによる担い手への農地集積・集約化の促進

○県産木材の安定的な供給体制の整備

h 未来を見据えた社会基盤を創る<県土・まちづくり分野>

○幹線道路のミッシングリンク\*解消や多車線化

○中山間地域\*の生活を支える道路の整備や身近な生活道路の整備促進

○地域鉄道の安全性向上を目指す設備整備への支援

○生活交通を支える路線バスの維持・確保対策

i 豊かな自然と共生する社会を実現する<環境分野>

○地元自治体や民間事業者などと連携した水辺空間の利活用の促進

○豊かな生態系を育む自然公園の保全

○水源かん養機能\*を持続的に発揮できる森づくりの実施

### 「第3編 地域別施策」内に掲載しているグラフについて

- ・割合を表示しているものは小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。
- ・各グラフの出典は以下のとおりです。

#### ○将来人口の見通し

令和2年は「国勢調査」(総務省)の不詳補完結果、令和7年以降は埼玉県推計  
なお、端数処理の関係で年齢3区分別の割合の合計が100%にならない場合がある。

#### ○人口ピラミッド

埼玉県推計

#### ○人口関係データ

人口増減率:令和2年は「国勢調査」(総務省)の不詳補完結果、令和7年以降は埼玉県推計

合計特殊出生率:「人口動態調査」(厚生労働省)及び「埼玉県町(丁)字別人口調査」(埼玉県)

生産年齢人口割合:埼玉県推計

労働生産性:「埼玉縣市町村民経済計算」(埼玉県)の数値を使用して計算。労働生産性は県内総生産(名目)を就業者数で除したものと定義。

外国人人口割合:「在留外国人統計」(法務省)及び「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(総務省)

後期高齢化率:埼玉県推計

#### ○経済関係データ

「埼玉縣市町村民経済計算」(埼玉県)

「2023年度国民経済計算」(内閣府)

データのうち、「域内総生産」及び「県内総生産」は年度値、「全国の総生産」は暦年値。

#### ○転入超過数(地域別・年代別)(令和7年)

「住民基本台帳人口移動報告」(総務省)